

第 8 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和6年 7 月 25 日

定 例 会

令和6年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年7月25日（第37号議案以外）
 招集の場所 越谷市中央市民会館4階 第15～18会議室
 開閉会日時 開会7月25日 午前 9時30分
 閉会7月25日 午前10時21分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平
委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	會 田 修	学校教育部 副 部 長 兼 学校管理課長	五十嵐 治
教育総務部 副 参 事 兼 生涯学習課長	川 澄 大 治	学校教育部 副 参 事 兼 学務課長兼 小中一貫校 整備室長	磯 山 貴 則
スポーツ振興 課 長	坂 卷 孝 二	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
図 書 館 長	茂 木 実	給 食 課 長	平 野 浩 孝
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	小 抜 麻衣子	教育センター 所 長	菊 池 邦 隆
大 相 模 公 民 館 長	飯 田 文 洋	学校管理課 調 整 幹	杉 田 直 也
		指 導 課 調 整 幹	二 瓶 剛
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	益 本 雅 行
		教育センター 調 整 幹	浜 崎 重 靖

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 調 整 幹	鈴 木 理 香
----------------	---------

令和6年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年7月25日（第37号議案のみ）
招集の場所 越谷市中央市民会館4階 第15～18会議室
開閉会日時 開会7月25日 午前10時21分
閉会7月25日 午後5時06分
(昼食休憩 午後0時10分～午後1時10分)

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職 務 代 理 者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平
委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	會 田 修	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
		教育センター 所 長	菊 池 邦 隆
		指 導 課 調 整 幹	二 瓶 剛
		教育センター 調 整 幹	浜 崎 重 靖

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 調 整 幹	鈴 木 理 香
----------------	---------

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより7月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、10名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、教育長専決第23号については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご意義ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前 9時30分)

吉田教育長 ここで、傍聴人の入室を許可します。

〔傍聴人入室〕

吉田教育長 ここで、本日の議事の進行についてお諮りいたします。

第37号議案 令和7年度使用中学校教科用図書の採択については、長時間の審議を要する議案であるため、通常の議案及び協議事項が終了した後、審議に入りたいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎第33号議案 「越谷市学校運営協議会委員の任命について」

◎第34号議案 「越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について」

◎第35号議案 「越谷市立図書館協議会委員の委嘱について」

◎第36号議案 「越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について」

吉田教育長 それでは、第33号議案から第36号議案につきましては、附属機関の委員の委嘱または任命に係る案件でございますので、一括して所管課長から説明した後、各議案に対する質疑、討論を行うことといたします。

第33号議案、指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第33号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをご覧ください。

第33号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について。

令和6年度越谷市学校運営協議会委員を次のとおり任命するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、備考について申し上げます。また、任期は令和7年7月31日まででございます。なお、敬称については省略させていただきます。

令和6年度蒲生南小学校学校運営協議会委員。

3号委員、江戸ゆかり、PTA役員、再任。

令和6年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立蒲生南小学校の令和6年度学校運営協議会委員について、地域住民等の学校運営への参画を促進するため、新たに委員を任命する必要があることから提案するものでございます。

続いて、会議要項の8ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた1名を加えた令和6年7月25日現在の令和6年度蒲生南小学校学校運営協議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただきたいと思います。

第33号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第34号議案、学務課長。

磯山学務課長 それでは、第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について、ご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の9ページをお開きください。

第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について。

越谷市立小中学校学区審議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

令和6年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立小中学校学区審議会委員が令和6年8月7日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続いて、会議要項の11ページをご覧ください。学区審議会につきましては、越谷市立小中学校学区審議会条例第3条第1項の規定により、委員20人以内で組織するものとされております。また、委員につきましては、同条第2項の規定に基づき教育委員会が委嘱するものであり、委員の構成は1号委員として自治会長、2号委員として小中学校長、3号委員としてPTA会長、4号委員として知識経験者となっております。任期は、同条例第4条第1項において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、令和6年8月8日から令和8年8月7日までとなります。名簿は、選出区分、氏名、備考、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。なお、その際、氏名及び任期のうち新任、再任の別のみ読み上げさせていただきます。また、敬称は省略させていただきます。

はじめに、1号委員の自治会長でございますが、深井晃、再任の1名でございます。

次に、2号委員の小中学校長でございますが、岡本順、再任。原田肇子、再任の計2名でございます。

続いて、3号委員のPTA会長でございますが、榊原久隆、新任。滝本守、再任の計2名でございます。

最後に、4号委員の知識経験者でございますが、和田昌子、新任。後藤桂子、新任。鈴木実、再任。高山水子、再任。手塚麻美、再任。小池美佳、再任。浅井亜由美、新任。馬場れい子、再任。石塚忠男、再任。深野弘、再任。内田泰代、新任。吉井仁実、再任。加瀬朱子、再任。星薫泰、新任。五味田真紀子、再任の計15名でございます。

以上20名の委員構成でございますが、男性が9名、女性が11名で、女性の比率は55%となっております。また、新任の方は6名、再任の方は14名でございます。

第34号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第35号議案、図書館長。

茂木図書館長 それでは、第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について、ご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の13ページをご覧ください。

第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について。

越谷市立図書館協議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

令和6年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立図書館協議会委員が、令和6年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続いて、会議要項の15ページの委員名簿をご覧ください。図書館協議会につきましては、越谷市立図書館協議会条例第1条第2号の規定により、教育委員会が委嘱するものでございます。委員の構成は、同条例第1条第2項の規定に基づき、1号委員として市内に設置された学校の教育関係者、2号委員として市内で活動する社会教育関係者、3号委員として市内で家庭教育の向上に資する活動を行う者、4号委員として学識経験者となっております。委員の定数につきましては、同条例第2条の規定により、12人で組織するものとされております。委員の任期は、同条例第3条において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様につきましては、令和6年8月1日から令和8年7月31日までとなります。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、備考の順にご説明させていただきます。なお、任期及び敬称については、省略させていただきます。

はじめに、1号委員ですが、石澤彩佳、越谷市立大沢小学校・教諭、新任。赤坂裕樹、越谷市立大相模中学校・教諭、新任。須田俊弥、埼玉県立越谷東高等学校・校長、新任の計3名でございます。

次に、2号委員ですが、窪田弘子、こだま文庫、新任。清村千佳子、越谷市地域家庭文庫連合会、新任。中嶋優、越谷市PTA連合会・理事、新任。五味田真紀子、越谷市子ども会育成連絡

協議会・副会長、新任の計4名でございます。

続いて、3号委員ですが、齋藤るみ、NPO法人子育てサポーター・チャオ・理事、再任の1名でございます。

最後に、4号委員ですが、萩原誠司、学識経験者、新任。正岡美樹、学識経験者、再任。香山三男、学識経験者、新任。若林由美子、学識経験者、新任の計4名でございます。

以上の12名の委員構成でございますが、男性が6名、女性が6名で、女性の比率は50%となっております。また、新任の方は10名、再任の方は2名でございます。

第35号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第36号議案、スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 それでは、第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の17ページをお開きください。

第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について。

越谷市スポーツ推進審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

令和6年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市スポーツ推進審議会委員が、令和6年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を任命する必要があるため、提案するものでございます。

続いて、会議要項の19ページをご覧ください。越谷市スポーツ推進審議会につきましては、越谷市スポーツ推進審議会条例第3条第1項の規定に基づき、18人以内の委員で組織するものとされております。委員の構成は、1号委員として学識経験のある者、2号委員として関係行政機関の職員、3号委員としてスポーツ関係団体等の代表者、4号委員として公募による市民となっております。任期は、同条例第4条第1項において2年間と規定されており、今回任命する委員の皆様方につきましては、令和6年8月1日から令和8年7月31日までとなります。

名簿は選出区分、氏名、備考、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。なお、その際、氏名及び任期のうち新任、再任の別のみ読み上げさせていただきます。また、敬称は省略させていただきます。

はじめに、1号委員でございますが、佐藤正伸、再任。八十島崇、再任。田島寧子、再任、平山裕子、新任の計4名でございます。

次に、2号委員でございますが、関口利夫、再任。上野雅祥、新任。林実、再任。小田大作、再任の計4名でございます。

次に、3号委員でございますが、高橋恭子、新任。須賀恒雄、再任。柿澤教雄、再任。上野敏子、再任。関根久治、再任。西松清志、再任。小岩桂子、新任の計7名でございます。

最後に、4号委員でございますが、桜庭雄耕、新任。中野利恵、新任。戸田道子、再任の計3

名でございます。

以上18名の委員構成でございますが、男性が11名、女性が7名、女性の比率は38.9%となっております。また、新任の方は6名、再任の方は12名でございます。

第36号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

吉田教育長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

はじめに、第33号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について、ご質問またはご意見等がございますか。

東委員。

東委員 今回の提案は任命ということで3号委員が入ることなのですけれども、任期がほかの方と違って、この方だけが8月1日から7月31日まででずれているのです。ほかの方は4月1日からなので年度ごとなのです。それで、質問なのですけれども、この運営協議会は学校の基本方針の承認をするという大きな役割があつて、これがずれていて何か支障はないのかということと、ずれたのは何か理由があると思うのですが、もし理由が分かれば教えていただければと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 任期が8月1日からとなっているのは、昨年度の途中からこの委員が任命されたということが理由としてあります。昨年度途中で学校がこの方を学校運営協議会委員として加えたいということで、委員として任命をしています。1年間務め終わりました、また再任という形で今年度からの任期が開始されることとなります。学校基本方針に関しましては、4月の段階で昨年度もこの方がいらっしゃいましたので、その件に関しては特に支障はなく、大丈夫だと思います。

吉田教育長 継続しているから支障はないということですか。

千嶋指導課長 はい、そのとおりでございます。

吉田教育長 よろしいでしょうか。

東委員 分かりました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 質問なのですが、既に出ていましたらすみません。1番の1号委員、向笠肇さんは備考欄にSDGs指導者とありますが、これは何か資格をお持ちなのか、どのような肩書なのかをお伺いしたいです。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 こちらに関しましては、詳しいことは分かりかねますので、少し調べまして後ほどお伝えいたします。

吉田教育長 よろしいですか。

足立委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第33号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

続いて、第34号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 質問させていただきたいのですけれども、まず小中学校学区審議会の主な審議事項についてが1点、2点目が、1号委員が1名、2号委員が2名、3号委員が2名、残りの15名が4号委員になっているのですけれども、各委員の主な選出区分をもう一度教えていただきたいのと、この割合でよろしいのでしょうかということをお聞きしたいです。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 まず、当審議会につきましては、越谷市立小中学校学区審議会条例第2条の規定により設置されているものでございます。越谷市教育委員会の諮問に応じて、学区編成に関し必要な調査審議を行うための機関でございます。従いまして、通学区域の変更等につきまして同審議会に諮問させていただき、委員の皆様にご審議の上、答申をいただくという形になっています。令和5年度につきましては、川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定についてという審議事項で、川柳小学校の卒業生が一部大相模中学校に進学するということにつきましてご審議いただきまして、それを光陽中学校に変更することによって川柳小学校の子どもたちが全て光陽中学校に進学するという内容についてもご審議いただききました。

続いて、当審議会は「20人以内で組織する」と規定されており、1号委員については自治会連合会から、2号委員につきましては校長会から、3号委員はPTA連合会から、それから4号委員でございますが、市内13地区のコミュニティ推進協議会からそれぞれ1名を選出していただいています。各地区のコミュニティ推進協議会につきましては、地区の自治会連合会、スポーツ・レクリエーション協会、公民館運営協議会、小中学校PTA、子ども会育成連絡協議会など地域活動団体、コミュニティ・スクールに関心のある市民など様々な見識を持つ方々で構成されています。その中から居住地域における住民間、または住民と行政の関わりを考える組織として設立されているものですから、多様な人材を確保するという点で13名、そして地域の大学、文教大学から1名、子どもに関わることとして子ども会育成連絡協議会から1名で、知識関係者15名を提案して

いるものでございます。

吉田教育長 4号委員が割合として多いのではないかとということのご質問かと思えますけれども、説明にあったように市内各地区の13地区からということです。よろしいでしょうか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第34号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

続いて、第35号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等がございますか。

山口委員。

山口委員 委員の方が12名いらっしゃるのですけれども、委員長等を決めるのは互選で決めるような形でしょうか。

吉田教育長 図書館長。

茂木図書館長 ご質問いただいた内容のとおり、議長及び副議長は委員の互選という形で選んでいただいています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第35号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

続いて、第36号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご質問またはご意見等がございますか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第36号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎令和6年度越谷市教育費補正予算について

吉田教育長 続いて、協議事項に入ります。

「令和6年度越谷市教育費補正予算について」、教育総務部長から説明いたします。

小泉教育総務部長 それでは、令和6年度越谷市教育費補正予算の要求内容について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の「令和6年度越谷市教育費補正予算について」をご覧ください。

まず、歳入についてご説明いたします。

3ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入の要求につきましては、今回5,120万円を追加し、補正後の総額は62億4,274万6,000円となります。

歳入の内容でございますが、8ページ及び9ページをご覧ください。

はじめに、教育総務部の要求でございます。生涯学習課でございますが、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、越谷市民文化祭における怪我に対する市民総合災害等補償金5,000円を追加いたします。

次に、スポーツ振興課ですが、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、市主催のスポーツ大会における怪我に対する市民総合災害等補償金27万5,000円を追加いたします。

次の21款市債、1項市債、6目教育債につきましては、川柳公園庭球場改修工事に係る体育施設整備事業債4,860万円を追加いたします。

次に、図書館ですが、17款寄附金、1項寄附金、4目教育費寄附金につきましては、図書館への使途指定寄附がございましたので、図書館費寄附金6万3,000円を追加いたします。

次に、学校教育部の要求でございます。教育センターですが、14款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、校内教育支援センター設置等に係る教育支援体制整備事業費補助金225万7,000円を追加いたします。

続いて、歳出の要求でございますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回、3億9,415万8,000円を追加し、補正後の総額は155億2,328万2,000円となります。

歳出の主なものについてご説明申し上げます。10ページ及び11ページをご覧ください。

はじめに、教育総務部の要求でございます。教育総務課ですが、1項教育総務費、2目事務局費の事務局事務費につきましては、会計年度任用職員の配置に係る会計年度任用職員報酬等として、合わせて173万円を追加いたします。

生涯学習課ですが、6項社会教育費、1目社会教育総務費の文化財保護事業につきましては、市指定文化財に係る修繕料として45万円を追加いたします。

また、成人式開催事業につきましては、二十歳のつどい開催に係る会場設営等委託料150万円を

追加するほか、その他社会教育総務費につきましては、越谷市民文化祭における怪我に対する補償金として、歳入と同額の5,000円を追加いたします。

次に、スポーツ振興課ですが、7項保健体育費、3目体育費のうち、体育施設管理運営費につきましては、屋外体育施設に係る改修工事費として6,650万円を追加いたします。また、その他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会における怪我に対する補償金として、歳入と同額の27万5,000円を追加いたします。

次の4目市立体育館費の施設管理費につきましては、総合体育館に係る修繕料として497万1,000円を追加いたします。

次に、図書館でございますが、6項社会教育費、4目図書館費のうち、図書館事務費につきましては、会計年度任用職員の配置に係る会計年度任用職員報酬等として、合わせて43万円を追加いたします。また、図書館活動運営事業につきましては、図書館の用途指定寄附に係る電子書籍使用料のほか、移動図書館車に係る修繕料として、合わせて55万2,000円を追加いたします。

12ページ及び13ページをご覧ください。次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課ですが、1項教育総務費、2目事務局費の事務局事務費につきましては、会計年度任用職員の配置に係る会計年度任用職員報酬等として、合わせて173万9,000円を追加いたします。

次の2項小学校費、1目学校管理費のうち、施設管理費につきましては、小学校施設の管理に係る植木管理等委託料の追加に加え、施設改修に係る修繕料、設計委託料及び改修工事費として、合わせて1億4,616万円を追加いたします。

また、備品等整備事業につきましては、令和7年度の児童数及び学級数の増加に伴う消耗品費等及び小学校備品に係る屋内運動場用備品購入費等として、合わせて1,317万円を追加いたします。

次の3項中学校費、1目学校管理費のうち学校活動運営費につきましては、中学校の学校活動運営に係る修繕料及び教科領域等負担金として、合わせて513万円を追加いたします。

また、施設管理費につきましては、中学校施設の管理に係る植木管理等委託料の追加に加え、施設改修に係る修繕料、設計委託料及び改修工事費として、合わせて1億3,600万円を追加するほか、14ページ及び15ページになりますが、備品等整備事業につきましては、令和7年度の生徒数及び学級数の増加に伴う消耗品費等として、523万円を追加いたします。

次に、学務課ですが、1項教育総務費、2目事務局費の教育活動支援事業につきましては、特別支援教育支援員等の配置に係る会計年度任用職員報酬等として、合わせて206万円を追加いたします。

次に、指導課ですが、1項教育総務費、3目学校教育指導費の外国語指導事業につきましては、外国語指導委託料の契約額の確定に伴い3,100万円を減額いたします。

また、学校教育支援事業につきましては、いじめ防止対策委員会臨時会開催に係る委員報酬として、110万円を追加いたします。

次に、給食課ですが、7項保健体育費、2目学校給食費のうち、学校給食事務費につきましては、会計年度任用職員の増員に係る会計年度任用職員報酬等として、550万円を追加いたします。

また、施設管理費につきましては、給食センター施設管理に係る施設用器具購入費の追加に加え、給食センター施設改修に係る修繕料及び施設改修工事費として、合わせて1,706万5,000円を追加するほか、その他学校給食費につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の返還金として、564万7,000円を追加いたします。

次に、教育センターですが、1項教育総務費、4目教育センター費の教育相談事業につきましては、教育相談事業に係る備品購入費の追加及び埼玉県新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化補助金の返還金として、合わせて344万4,000円を追加いたします。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。(3)債務負担行為でございますが、追加が4件ございます。まず、「千間台小学校プール改修工事費」から「中学校エレベーター改修工事費」までにつきましては、小中学校設備の改修事業について、令和6年度から令和7年度を期間として債務負担行為を設定するものでございます。

また、表の一番下、「第二学校給食センター蒸気ヘッダー取替修繕」につきましては、給食センターの設備修繕について、令和6年度から令和7年度を期間として債務負担行為を設定するものでございます。

続いて、7ページをご覧ください。(4)地方債の変更でございますが、歳入で説明いたしましたとおり、屋外体育施設改修工事に伴い、市債の限度額を表のとおり変更するものでございます。

9月補正予算の要求に係る説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 9ページ(1)歳入のスポーツ振興課の21市債について、川柳公園のテニスコートの改修事業で総額1億3,760万円かかるかとあり、今回要求で額も増えているのですけれども、実際にどのような事業内容で要求額が増えたか、理由が分かれば教えてください。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 地方債ということで借金に関わる部分でございますが、川柳公園庭球場の修繕6,650万円に諸経費を差し引いた75%が起債の充当額となりますので、それに市債の部分を加え1億3,760万円となります。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 実際に整備されてどんな形に、市民の方が利用しやすくなるのか、例えばLEDになるとか、何かそういう具体的にどんな市民にとっていいことがあるのかといこうとを教えてください。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 現在、川柳公園庭球場がハードコートというコンクリートのコートなのですが、亀裂や塗装の剥がれ等がございますので、それをオムニコートという砂入り人工芝に改修いたしまして、市民の方が使いやすく、また安全な施設に改修するという事業内容でございます。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 14、15ページ（2）歳出の学務課ですけれども、特別支援教育支援員等の配置に関わって、先ほど合計206万円の人件費というご説明があったと思うのですけれども、これは何人分を要求されているのかということと、学校から要望される人数は、感覚としては増加しているのかなと思うのですけれども、要望の傾向について教えていただければと思います。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 特別支援教育支援につきましては、今回の補正で3名分の要望を、と考えています。当初では85名配置をしているところ3名を加えて、全部で88名ということになるわけなのですが、要望としては200名以上の要望があり、今回の補正に係る、途中でさらに欲しいという要望については、36名分の要望があがっているという状況でございます。

吉田教育長 傾向についてはどうですか。

磯山学務課長 非常に増えているところでございます。配置当初については70名ぐらいの配置が、現在は、年度当初において220名以上の要望があがっている状況でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 11ページですけれども、生涯学習課の社会教育費で、市民総合災害等補償金の追加で、市民文化祭での保険金の支払いということですが、これは具体的にどのようなものであったのかということと、スポーツ振興課の保健体育費で、総合体育館施設改修費の修繕料で、総合体育館に関わる修繕料の追加ということですが、これは497万1,000円と高額のように思うのですけれども、具体的にどのような修繕だったのかを教えてください。

吉田教育長 最初に、生涯学習課長。

川澄生涯学習課長 その他社会教育総務費における行事傷害に係る補償金5,000円の追加でございますが、令和5年11月に開催した市民文化祭におきまして、大ホールの降下中のどんちょうに出演者1名の頭部が接触するという事故が発生いたしました。被害者の通院が終了いたしまして、必要書類が整ったということで、市民総合災害等補償金5,000円について歳入歳出の両建てで要求したものでございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 それは、被害者の方がうっかりぶつけたものであって、特に施設上、そこにあるのが問題だったということではないということですか。

吉田教育長 生涯学習課長。

川澄生涯学習課長 被害者の方がうっかりということではありますが、出番を表示している「めぐり」をめぐりに行こうとして、上から降りてきているどんちょうに気づかずに当たってしまったというものです。その場で意識を失うとかではなかったのですけれども、念のための通院という対応です。ただ、そういったとっさの動きに対しても、どんちょうを止めるといったことは、運営委託でやるべきだったという反省がございますので、今年度は、めぐりを使っている団体も相当少ないというところもあり、めぐりは原則置かないような対策を取ろうと考えています。

吉田教育長 どんちょうが下がってくるときにめぐりに行ってという状況で、場所も場所だったのかもしれないのかな。

よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 総合体育館の修繕料の追加についてでございますが、4月中旬に総合体育館の館内の照明を制御する照明制御装置が機能なくなり、早急に修繕をする必要があったため、当初修繕費がなかったものですから、光熱水費の予算額から修繕費用を流用しまして、先に修繕させていただいたものです。その不足する部分が今回補正で補填されるという形になっています。現在、照明は直っていますので通常に運営できています。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎第37号議案 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

吉田教育長 続いて、第37号議案「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」審議を行います。ここで事務局職員の入替えを行います。

〔執行部入替え〕

吉田教育長 それでは、第37号議案「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第37号議案 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の21ページをお開きください。

第37号議案 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について。

令和7年度使用中学校教科用図書を別紙のとおり採択するものとする。

令和6年7月25日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、中学校教科用図書の採択替えに伴い、令和7年度使用中学校教科用図書を採択する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市立小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第3条の規定により、本市教育委員会で行うこととなっております。

恐れ入りますが、23ページをお開きください。今年度採択する中学校教科用図書は、採択一覧表でお示ししましたとおり17種目でございます。今回、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定に基づき、教科用図書の採択が4年を経過することから実施するものでございます。

なお、採択された教科用図書につきましては、令和7年度から4年間の使用となります。

採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領に基づき行います。

はじめに、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行い、続いて教育長及び教育委員の皆様からの質疑にお答えいたします。その後、教育長及び教育委員の皆様でご協議いただいた後、採択をお願いいたします。

なお、会議要項25ページに中学校教科用図書発行者番号等を掲載しておりますので、ご参照いただければと存じます。

第37号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより教科用図書の採択について審議をいたします。

審議に入ります前にお諮りいたします。

採択の方法ですが、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、私及び委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も高い教科用図書発行者を採択することにしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

ここで傍聴人の方にお知らせいたします。傍聴の心得にあるように、議案の進行を妨げるような言動はお控えいただきますようお願いいたします。静粛な会議の進行にご協力をお願いいたします。

国語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

神田選定委員 今回の国語の教科用図書選定資料の説明につきましては、現在使用の教科書採択時と同様に平成29年告示の学習指導要領となりますので、このときに特に重視されていた点に絞って説明させていただきます。各教科書の特に1年生のものを使わせていただきます。

まず、1内容（1）知識及び技能が習得されるようにするための工夫で、新設されています情報の扱いについてご説明させていただきます。

東京書籍、1年生の8ページをご覧ください。情報の扱い方では、各学年に右上の紫色の文字「情報と論理の学び」を設け、その情報と情報との関係の捉え方や情報整理の仕方を学び、続いて読むことや書くことの言語活動を配置し、体系的に学べるような工夫がされています。

66ページをご覧ください。キャラクターが学校生活の場面を話題にして学んでいきます。右下にQRコードを読み込み、一番上の「考えてみよう」を再生します。スクリーンをご覧くださいければと思います。

〔動画視聴〕

神田選定委員 このように興味を引きつけ、タブレットで分類や比較の活動ができる工夫もされています。4つのコンテンツがあったのですが、その2番目から4番目のところは、ここの学習をタブレット上で実際にラベルを動かす、そういうことができる工夫がされています。

さらに、2年生の読書教材の「読書と情報」では、情報リテラシーの育成を図れるような工夫がされています。

続いて、三省堂、1年生の4ページ、右側の6というところをご覧ください。情報の扱い方では、各学年に「情報に関連づける」という大きな単元を設けるとともに、グラフや図表など情報とも関連づけながら自分の考えを深める学習ができるような工夫がされています。こちらでは、漫画を使い学校生活の場面を話題にして興味を引きつけています。146ページから漫画が、148ページに図表が、そして150ページには、関連づけて読み物が出てきます。152から154ページの資料Aと資料Bを用いて、「行事案内リーフレットをつくる」という言語活動につながる単元ができるよう工夫がされています。

302ページ「著作権と引用」では、3年生でメディアリテラシーの単元を設け、各学年の資料編にこの同じ資料を掲載し、情報リテラシーを高めるための教材を掲載しています。

続いて、教育出版、1年生の2ページをご覧ください。右下のロゴに「情報・メディアと表現」があります。情報の扱い方では、各学年に「情報・メディアと表現」の教材を設け、それぞれのメディアの特性を理解し、情報モラル、メディアリテラシーに関する理解が深められるようにな

っています。さらに、その作者がリテラシーについて述べているメッセージ動画をQRコードで視聴する工夫もされています。3ページ、目次の上をご覧ください。「情報・メディアと表現」、にっこりマークの3つのロゴが配置されていますので、また4、5ページのようにそのロゴが出ているところは、その情報の扱いがされている単元となります。

66ページをご覧ください。文章や映像に表されている情報と情報の関係を捉えるために、この文章で学んだことを、68ページの写真という情報の読み取りにいかした学習活動ができるよう工夫がされています。また、2年生の86ページ、QRコードをご覧ください。1年生のときはなかったのですが、2年生では筆者の高橋さんがメディアリテラシーについて述べている動画が収められています。短時間ですが、再生します。

〔動画視聴〕

神田選定委員 一部ですけれども、このように筆者が直接子どもたちに語りかけながら、という工夫がされています。

続いて、光村図書、1年生の2ページ、目次をご覧ください。情報の扱い方では、各学年に「情報整理のレッスン」と「思考のレッスン」という単元を設けて、練習問題を通して実践的に知識や技能を習得できるような工夫がされています。52ページをご覧ください。ここで比較、分類について学んだことを各ページ下段の問題1、問題2で習得できるような工夫がされています。

78ページをご覧ください。各学年にこの情報とSDGsというコーナーを設け、今日的な諸課題を自分の問題として多角的に考えられるような工夫がされています。

1 内容（3）の語彙指導の充実について説明をさせていただきます。

東京書籍、1年生の40ページから47ページまでお進みください。47ページ下段、語彙指導では、まず今のように読み物を読む教材に、「広がる言葉」というコーナーを設け、セットとして作品中の表現に関連づけて、さらに多くの言葉を学べる工夫をするとともに、QRコード「言葉を広げよう」では、5つのテーマについての言葉を大変多く確認できるような工夫がされています。

続いて、三省堂、1年生の66ページをご覧ください。同じように、これも読み物とセットになっています。読み物が75ページで終わり、77ページ下段に、語彙指導は物語文の「語彙を豊かに」というコーナーを設け、テーマに合わせた他の言葉を学べるよう工夫がされています。

続いて、教育出版、1年生の318ページをご覧ください。語彙指導は、各学年の資料に、「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」を設け、19のテーマについての言葉を多く確認できるような工夫がされています。

続いて、光村図書、1年生の22ページをご覧ください。こちらも読み物とセットになっています。29ページ下段をご覧ください。語彙指導は、まず読むことの教材に「言の葉ポケット」というコーナーを設け、作品中の表現に関連づけて、より多くの言葉を学べる工夫がされています。76ページをご覧ください。五感を磨くための教材、「語彙を豊かに」という各学年に用意されてい

る単元です。

さらに、語彙指導に特化した「語彙ブック」をご紹介します。267ページをご覧ください。少し小さいサイズの資料になっています。各学年にとじ込んであり、めくっていただきますと、27の多種多様なテーマについての言葉を多く確認できるような工夫がされています。

最後に、古典の資料について説明させていただきます。小学校で少し触れていますが、旧仮名遣いの文が出るために、中学生になったときには子どもたちがとても苦手意識を持つことのある分野です。各社ともに、それを軽減しながら学習ができるよう工夫がされています。

東京書籍、1年生の140ページをご覧ください。「浦島太郎」のお話です。142から144ページまで「イソップ物語」の「伊曾保物語」です。147から148ページまで「竹取物語」とあるように、1年生において古典学習に興味を持てる工夫がされています。古典は、本文左に青色で現代仮名遣いが書かれています。古文はフォントを大きくし、現代語訳は下段に桃色で書かれています。段階的にステップアップさせ、3年生の教材では脚注のみの文章を載せています。そのような工夫がされています。

続いて、三省堂、1年生の116ページをご覧ください。ここでは月をテーマに古典学習に興味を持たせる工夫がされ、月につなげて「竹取物語」に行くような学習になっています。古典は、本文左に茶色の現代仮名遣いで書かれています。古文はフォントを大きくし、現代語訳は下段に青色で書かれています。本文中に脚注を設けず、各ページ末に難語句と新出漢字を四角で囲んで示しています。こちらでも段階的にステップアップさせ、3年生の教材では脚注のみの文章も載せています。巻末には資料として、「小倉百人一首」が百首全て掲載されています。

118ページのQRコードを紹介させていただきます。

[動画視聴]

神田選定委員 118ページから127ページまで、先ほどの動画はここまでの全ての場面の朗読音声に掲載されているという工夫があります。また、挿絵も子どもの興味を引きつける工夫がされているということは、ご覧いただいて感じられると思います。これを踏まえて、参考資料128ページから131ページをご覧ください。こちらでの言語活動につながるよう工夫がされています。

続いて、教育出版、1年生の114ページから117ページまで、昔話の「桃太郎」があります。中学1年生において興味を持てるような工夫がされています。古典は、本文右にオレンジ色で現代仮名遣いを掲げています。現代語訳は、1年生は下段に黄色の四角の中に示され、2、3年生はステップアップさせ、一部の教材は本文左に部分的に青色で示されています。3年の教材は脚注のみの文章を載せています。ほかの教科書と比べ、1年生ではこの文章量を少なめに設定して、段階的に取り組みやすくされている工夫があります。

続いて、光村図書、1年生の152ページをご覧ください。ここでは3年間で学ぶ古典を俯瞰し、学習の見通しを持たせる工夫がされています。154ページ「いろは歌」を用いて、1年生において

古典学習に学ぶ興味を持てる工夫がされています。157ページをご覧ください。古典は、本文右に黒色で現代仮名遣いが書かれています。現代語訳は1年の教材は本文左に青色で示され、ステップアップさせ、2、3年生では教材は下段に書かれています。3年生の教材は脚注のみの文章も載せており、「いろは歌」と全学年に本文が手書きの教材が掲載されています。巻末には資料として「小倉百人一首」が一部掲載されています。

156ページの右にQRコードがありますので、紹介させていただきます。

〔動画視聴〕

神田選定委員 このように本文の朗読があります。

また、166ページをご覧ください。言葉遊びで締めくくられている「竹取物語」の各所を紹介し、現代につながる言葉に興味を持たせる工夫がされています。そして、168ページの言語活動につながるという工夫がされています。

以上です。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 まず、選定委員としてどの教科書を推薦するかご説明をお願いします。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍38点、15番、三省堂43点、17番、教育出版41点、38番、光村図書63点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、63点の光村図書、43点の三省堂、41点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか。

神田選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、国語で伝え合う力を高めることが重要であり、そのための教材や工夫があるとよいということ。

2点目は、子どもの読書離れが話題になっています。ので、読書に親しむための指導ができるような工夫があるか、ということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、また、その主な理由について教えてください。

神田選定委員 学校からの推薦では、光村図書を推薦する学校が最も多く14票、次いで教育出版と三省堂が3票、東京書籍が2票という結果でした。

推薦理由といたしましては、光村図書では、内容の難易度が適切であり、言葉に関する事項が充実している。学習の流れがつかみやすく、学びが積み重ねやすい。教育出版では、他の教科より細かい発問がされている。言語事項において1年生から系統立てて配置されている。三省堂では、教材を読みやすくするためのレイアウトに力を入れている。思考ツールを掲載し、様々な場面で活用できる。東京書籍では、作文の単元が豊富である、スピーチや課題作文のページが充実している等の意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 選定委員会で、伝え合う力を高めることが重要というお話を伺いましたが、各社で伝え合う力というのは、何か工夫としてそれぞれ特徴的なものがあつたら教えていただきたいと思えます。

神田選定委員 東京書籍につきましては、多様な個性を持ったキャラクターの案内で、問題解決的な共同の学びが深められるような工夫がされていました。

三省堂につきましては、全領域の教材においてつけたい力との関連を明確にして言語活動を取り上げており、また社会生活における言語活動において活用できるような工夫がされていました。

教育出版につきましては、教材名でも目標でも言語活動を明示して、さらに「目標」、「学習活動の流れ」で学習の見通しと重点を示していました。さらに、学習の手引「みちしるべ」での「自分の考えを伝え合おう」と示されている学習課題が多く、授業での言語活動として取り組むことを盛り込んでいる工夫がされていました。

光村図書につきましては、学習を通して身につける資質能力を「学びの鍵」と明示し、さらに思考や分析を深める話形や表現を、「言の葉ポケット」のコーナーに示し、適した表現を探す支援をしている工夫がされていました。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会には、1号委員として保護者の方もいらっしゃいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

原田選定委員長 各教科書でそれぞれ語彙力を高めるための工夫があるかどうか、自主学習に取り組む際にはそれを活用できると思うのだけれども、それ以外にも何か生徒が自主的に学習する際に活用できる工夫があるといい、というような意見が出ました。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。選定資料にある4つの調査の観点、内容、資料、表記・表現、総括に沿って協議を進めたいと思います。

なお、これらは相互に関連していますので、必ずしも分けてお話ししていただかなくてもよろしいかと思えます。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等はございますか。

東委員。

東委員 説明を伺ったり教科書を見たりして、どれもよくできていて甲乙つけがたいという感じがあるのです。それぞれ「日本語探検」、「言葉の発見」、「言葉の小窓」など、同じような工夫がされていて、どれというのが難しいと思います。ただ、今回は情報に焦点化してご説明いただいて、教育出版は情報モラルがしっかり書かれていると思いました。ほかの各社も情報メディアリテラシーについてはしっかり触れているので、この部分がこれからの4年間、国語の中でもすごく大切な内容になると思います。そういう視点で考えていきたいと思っています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 東委員からもお話ありましたように、各社とも興味を持てる教材の工夫や学習の見通しの持たせ方、あるいは語彙力をつける工夫など、それぞれ工夫されているという印象を持ちました。

その中で、光村図書につきましては、現場の声を聞きますと、「学びのカギ」、これが非常に有効だという声が寄せられていると思います。また、学習の見通しを持たせるためにも、非常に有効なのかと感じました。教材のバランスや図や表の配置、読む、話す、聞く、書くのバランスなどもいいという意見も多かったと思います。資料に入るかもしれませんが、1年生の267ページ、「語彙ブック」なども、单元ごとにいろいろと工夫されている会社もありますけれども、光村図書の場合はまとめて載っているというのも非常にいいのかと、情景を表す言葉、心情、行為を表す言葉、思考するときの言葉など学年ごとに様々な言葉を分かりやすくまとめているのは活用しやすいのではないかと感じました。

また、262ページ「国語の力試し」で、263ページでは読む力、264ページでは話す力、聞く力、そして265ページ書く力ということで、それぞれどんな力をつけたらいいのかということも明確になっているので、いいのかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 各社、古典への導入として「竹取物語」は扱っていて、どれも興味を引くように作られていて非常にいいと思いました。特に三省堂に関しては、現代のすごくきれいなイラストと、絵巻を読み解くという昔のものもいろいろ取り入れていらっしゃる、非常に興味を引くようなつくりになっていて、この点についてはすごくよく作られていると思いました。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 どの教科書も、情報リテラシーやメディアリテラシーなどの語彙指導については充実していると思いました。国語といたしますと、文章の書き方、話を聞いてそれを要約する、発表するということが求められると思うのですけれども、そういう点でいたしますと、1年生の光村図書14ページ、教育出版17ページ、東京書籍16ページを見ていただきたいのですけれども、光村図書につきましては、「言葉に出会うために」で、小学校から中学校へ声を届ける、書き留める、言葉を調べる、続けてみようという形で、16、17ページに具体的に「声を届けるには」、「書き留めるには」などで、そのことが詳しく書いてあって分かりやすいと思いました。

続いて、教育出版につきましては、阿川佐和子さんの「聞くということ」ということについて書かれていて、ああ、なるほどなど勉強になりました。

続いて、東京書籍につきましては、魚住りえさんの「朗読の世界」を読みまして、アナウンサーだからずらずらと話せるわけではないと、自分も口下手のほうだと思ったということが書かれています。その後、18から20ページで、具体的に朗読、発表、本を読むことについて、こんなふうに読んだらいいよというのが書いてありまして、私も実際に、芥川龍之介の「雲の糸」を読みました。ご指導に従ってといたしますか、読んでみると本当によく読めるようになるということが分かりまして、なかなかこの朗読についてのことを取り上げている題材というのは少ないのかなと感じまして、そういう意味では東京書籍のこの教材はとてもよいと思いました。

吉田教育長 他にございますか。

足立委員。

足立委員 各社大変様々な工夫を凝らしていらっしゃると思います。どの教科書も取り扱っている「竹取物語」への導入部分で、特に私は三省堂の「月を思う心」で、月から入っているのは次の「竹取物語」に入っていくのにとってもいい流れだと思いました。

野口委員さんもおっしゃっていましたが、光村図書の「語彙ブック」で、「聞き取りの表現をつけるために」で、「語彙ブック」でかなり細かく様々な言葉を載せているのは、生徒の興味も引きやすいのではないかと思います。

吉田教育長 他によろしいですか。

出された意見についてのご質問でも構いませんけれども、よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 私から幾つか申し上げたいのですけれども、語彙を豊かにするということは、全ての

教科の学習にもつながってきますし、基礎となるものですので、これを重要視されてどの教科書にも書かれて、工夫されているわけです。例えば、光村図書、1年生の206ページ、内容から申し上げますと、「少年の日の思い出」でヘルマン・ヘッセの訳を載せているのですけれども、ここで蝶や、あるいは友人、自分の行為に対するその時々的心情を表す巧みな言葉遣い、そして224ページになるのですが、「二十歳になった日」さくらももさんのところで、心情を表す僕や表現に着目して読み、五感を磨く学習をした後に、228ページでは体験をもとに随筆を書くという学習をします。これにより着実に語彙を豊かに育めるようにしています。また、228、229ページで「随筆を書く手順」、これを具体的にした学習課程を示しておりまして、230ページでは、そうした手順で書かれた随筆の事例も丁寧に文章で紹介してあります。

さらに、71ページですけれども、「比喩で広がる言葉の世界」を学んだ後に、76ページでは「語彙を豊かに」、「気持ちを一言で表そう」、「気持ちを表す言葉を集めよう」、「気持ちのぴったりの言葉を選ぼう」として語彙を増やす学習が用意されています。全体を通して大事だということで、先ほど申し上げましたけれども、全社に言えることですが、特に光村図書では、こういう言葉の特徴や使い方に着目して、読む、書く、話す活動を繰り返しながら、その関係性を問い直して意味づけをして、そして語彙を豊かに育めるように丁寧に教材が設定されていると思いました。

他によろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、次の観点の2から4についてですけれども、これらについてはまとめてお願ひしたいと思います。調査の観点2から4についてご意見はございますでしょうか。

東委員。

東委員 紙の厚さが大分各社違うと思って、光村図書はすごく薄いのです。それで、教育出版がすごく厚くて、これ授業をするとき、今はどうなのでしょう、教科書に生徒たちが鉛筆やシャープペン、メモを取ったり、書き込んだりということはやるのでしょうか。それによって紙の質は結構重要だなと思ったものですから、少し質問を入れての意見です。

吉田教育長 選定委員で質問の回答をお願いします。

神田選定委員 今でも授業でやはり教科書、例えば読み物の教材、物語文、説明文で、いろいろ読み取るために必要なところに線を引いたり、接続語に印をつけて、この文章の展開であったりいろいろな見たりということを行いますので、書き込む時間は授業の中で多く取っています。

紙の質ということですが、ストレスなく、どれも大丈夫です。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 はい。

吉田教育長 他に2から4について、ご意見はございますでしょうか。資料、表記・表現、総括と

いうこととなりますが。

渡辺委員。

渡辺委員 小学校から中学校に上がると国語の教科書が格段に厚くなると思うのです。そうすると子どもたちは授業に入っていくときに、そこでもう大変だなと思ってしまう子もいると思うのです。各教科書の目次を見てみたのですけれども、光村図書と教育出版、東京書籍を見てみますと、どの教科書も単元の下のところ具体的に「日本語探検」、「文法の窓」という形で掲載があって、こういうことを学ぶのだというのが分かってよいと思うのですけれども、三省堂の目次は特に下には書いていなくて、細かいことなのですけれども、作者の名前も統一して下に書いて、同じ段に書いてあるのです。そして、とてもすっきりしていて分かりやすいと思いました。

吉田教育長 他にございますか。よろしいですか。

4つの観点の他に協議したい内容はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより国語の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、山口委員、野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	21点
15番	三省堂	23点

17番 教育出版 22点

38番 光村図書出版 30点

以上のとおり国語の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

次に、書写の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

神田選定委員 それでは、1内容(1)知識及び技能が習得されるようにするための工夫、特に書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための工夫について申し上げます。

まず、東京書籍につきましては、18ページの下段「書写のかぎ」をご覧ください。このコーナーを設け、学習のポイントを分かりやすく示し、キーワードは太字にして強調している工夫がございます。

続いて、三省堂、24ページの下、熊のイラストがあるところですが、それでも、「書き方を学ぼう」のコーナーを設け、例えば筆使いについての解説を添えて示し、分かりやすい工夫をしています。

続いて、教育出版、26から29ページをご覧ください。同じ「いろは歌」ですが、29ページの上段にあります「書くときのポイント」のコーナーを設け、学習の3段階目となる「生かそう」にそれを設置し、学習のポイントを示す工夫をしています。

続いて、光村図書、44ページの下段をご覧ください。「学びのかぎ」のコーナーを設け、学習のポイントを示し、筆の動きを写真つきで示しています。さらに、その隣に筆の動きが分かる動画のQRコードがございます。

次に、2資料のQRコードに着目してお伝えしたいと思います。

まず、東京書籍、15ページをご覧ください。こちらのQRコードは書き方を音声付きの動画で説明する工夫をしています。再生をお願いいたします。

〔動画視聴〕

神田選定委員 続いて、三省堂の47ページをご覧ください。こちらでは音声はありませんけれども、ポイントが図示されています。

〔動画視聴〕

神田選定委員 続いて、教育出版の42ページをご覧ください。

〔動画視聴〕

神田選定委員 続いて、光村図書の57ページをご覧ください。毛筆する文字の脇にはこのように必ずQRコードを配置して、書き方を音声付きの動画で説明する工夫をされています。

〔動画視聴〕

神田選定委員 お示した動画は、57ページの上段左上にある動画で、左下にここで学んだ筆使い

を「ほかの文字でチャレンジしてみよう」という動画があり、ほかの文字の学習にも生かすことができるという工夫をされています。

次に、3表記・表現、特に(1)の運筆、筆の運び、書写ですので、やはりこの筆の運びという学習は大事になってきています。

東京書籍、46ページは運筆、学習のポイントを焦点化し、「書写のかぎ」として示しています。また、筆の運びである運筆の点線は、桜色のところの水色の点線を見ていただければお分かりのとおり、できるだけ最小限にして示しているところが工夫をしているところです。

続いて、三省堂の38ページをご覧ください。学習の重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示しており、また筆の運び、運筆の点線についてもこちらも最小限の点線にして示しているところが工夫をしているところです。

続いて、教育出版の49ページをご覧ください。学習のポイントは左ページ「考えよう」のコーナーで背景色をつけて示しています。筆の運び、運筆の点線については多く示し、手のイラストを筆に見立てた工夫をしています。多く点線があるので、分かりやすいと思います。

続いて、教育出版の54ページ、学習のポイントは「学びのかぎ」として示しています。筆の運び、隣の左側54、55ページを見ていただきますと、運筆の点線は最小限にしており、筆の動きが分かる擬音語、ビョン、ピタッ、ピョンのように感覚的にも分かるような工夫をしています。

最後に、3表記・表現(2)教材の内容や解説・説明の仕方についての発達段階に応じた工夫につきまして説明させていただきます。

東京書籍は、めくっていただくとお分かりのとおり、困難を抱える生徒への配慮として、紙面に使う色や要素の数を抑え、学習に集中できるようにされています。また、説明を分節で改行している工夫をしています。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、色の区別による説明は必要最小限として、字体はUDフォントを使用しています。そのような配慮があります。

続いて、三省堂です。困難を抱える生徒への配慮としまして、教材を見開き2ページで構成する工夫、右ページから左ページへ、学習の順番が分かるような工夫をされています。さらに、カラーユニバーサルデザインの観点から色の区別による説明は必要最小限とし、字体はUDフォントを使用しています。

続いて、教育出版です。配慮といたしまして、カラーユニバーサルデザインの観点から、色の区別による説明は必要最小限とし、字体はUDフォントを使用しています。さらに、8ページ下段、用具の置き方と、その左に小さな写真があると思うのですがけれども、左手で書く左利きの子、左手で書く場合の毛筆用具の置き方や左利きの持ち方などの動画がそこに示される工夫をしています。

光村図書です。配慮といたしましては、大事なことを大きく示し、カラーユニバーサルデザインの観点から色の区別による説明は必要最小限とし、字体はUDフォントを使用しています。33ペ

ージをお開きください。左手で書く場合の毛筆用具の置き方や左利きの持ち方の動画などが示される工夫もされています。

以上です。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員としてはどの教科書を推薦するのでしょうか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の方が提出された意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果ですが、2番、東京書籍36点、15番、三省堂38点、17番、教育出版48点、38番、光村図書62点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、62点の光村図書、48点の教育出版、38点の三省堂を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますか。

山口委員。

山口委員 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか。

神田選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、タブレットでの入力に慣れている現代の生徒たちにおいて、手書きの意味や意義が分かるような工夫があるかということ。

2点目は、行書に初めて触れる生徒がほとんどだと思いますので、抵抗感なく取り組める工夫があるかというところがございます。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのかということと、またその主な理由について教えてください。

神田選定委員 学校からの推薦では光村図書を推薦する学校が最も多く12票、次いで教育出版が6票、三省堂が1票という結果でした。

推薦理由といたしましては、光村図書では行書体の説明が一番丁寧で分かりやすい。日常に役立つ内容が豊富である。

教育出版では、字形や筆順など細かいところまで説明されている。行書の漢字一覧が部首で配列していて見やすい。

三省堂では、無理のないボリュームで教材が紹介されている等の意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

足立委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 書写の場合には硬筆と毛筆、その他万年筆とかいろいろあるのですよね。見ていたらいろいろな筆記用具が出てきて、特にこの硬筆と毛筆の両方を学ぶわけで、この関連を図るためにどんな工夫がされているのかということをお教えいただければと思います。

神田選定委員 まずは、東京書籍、24、25ページの楷書、行書のつながりから、26、27ページの毛筆指導を硬筆指導に生かすために、「基本の点画の書き方」では楷書を用いて「読みやすく速く書く」の単元では行書を用いる工夫をしています。

続いて、三省堂の4、5ページをお開きください。ここは学習の流れを俯瞰できて分かりやすかったのでお示しさせていただきます。毛筆指導、硬筆指導に生かすために、各単元の教材の構成をこのように毛筆で書き方のポイントを学び、硬筆に生かす、流れるような工夫がされています。

続いて、教育出版の20ページをご覧ください。毛筆指導、硬筆指導に生かすために単元の中でまず右上の試し書き「硬筆で書いてみよう」、そして「考えよう」では毛筆、その下の「まとめ書きと応用」で今度はまた硬筆という流れで学べるような工夫がされています。

続いて、光村図書の58ページをご覧ください。毛筆指導を硬筆指導に生かすために単元の中で①「考えよう」②「確かめよう」③「生かそう」のコーナーを設けて、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるような工夫を各単元でされています。

以上です。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 各教科で聞いているのですけれども、選考委員会では1号委員として保護者がいらっしゃいますけれども、どのような意見が出たのかお伺いしたいと思います。

原田選定委員長 中学生にお子様がいらっしゃる1号委員の方だったので、その中学校で習った行書体で非常に興味を持ち、自分の名前も行書体で書きたいという思いも出て非常によかったということと、習ったこと以外にも興味のある文字を行書体で書けるような工夫があるとさらにいいというようなご意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい、分かりました。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 質問なのですけれども、行書体というのは中学校になって初めて習う文字でしょうか。

神田選定委員 はい、そうです。

渡辺委員 分かりました。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 何か他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等がございますか。

東委員。

東委員 協議2、3、4でまた聞きたいと思っているのですけれども、小学校でも書写はありますよね。その連続性というのを質問しようと思うので、内容については、やはりどれもよくできていて、QRコードで各動画を全ての教科書が見られます。これは、授業以外のところでも自分で学習できるという工夫がされていて、本当に教科書がよくなったと実感しました。現実の生活とのつながりで、東京書籍が非常に年賀状の書き方、インタビューのメモの取り方など実用的なものを入れていて、とてもいいと思いました。

ほかにも、三省堂は動画を見ていたら一番上に「30分見たら休もう」と必ず出てきて、非常に配慮しているというのが分かりましたし、教育出版は「試し書き」と「まとめ書きと応用」に分けているところが大変いいです。「試し書き」があると気楽にチャレンジできるという、書くことにいざなうという意味では大変よかったと思います。光村図書は、全てに「ほかの文字にもチャレンジ」と入れてあって、QRコードではないと見られないところが少し残念なのですけれども、1つの文字だけではなくて、そこから発展的に展開していくという、授業の中でできなくても、自宅でとか復習で発展的な学習ができる工夫がされています。それぞれ各社工夫がされていて、少し悩みますという意見です。

吉田教育長 全くなかなかどこに違いがあるのかというのは探すのは難しいぐらい、よくできていると思いますけれども、他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 日本語の文章を手で書くときに、一番のハードル、自信を持って字を書けるかというのは平仮名の書き方だと思うのです。各社平仮名の書き方を、漢字からどのように平仮名に変わっていったかというところにページを割いていると思うのですけれども、教育出版の27ページでは、

漢字から平仮名に変わっていくというのが全部で5文字、漢字から平仮名までモーフィングのように変わって細かく書いてあり、ほかの会社よりも少し細い筆を使って書いているので、筆使いが分かりやすいということは、平仮名をいかに書くかということの学びについては、非常に工夫がされていると思いました。

吉田教育長 大分きっちりとして細かく見ていかないとなかなか違いが分からないのですけれども、他にどうでしょうか。

足立委員。

足立委員 先ほど選定委員会での話題、タブレットの入力に慣れている現代の生徒たちにおいて、手書きの意味や意義が分かるような工夫というところで、国語の教科書で三省堂の「朝のリレー」ですけれども、書写でも「朝のリレー」を載せていて、それが今回書写では手書きで載っているので、これはすこぐ手書きの意味や意義が分かるような工夫になっているなど個人的には思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 中学生になって初めて行書体を習うということだったので、各教科書を比較してみたのです。東京書籍の24ページ、教育出版の38ページ、三省堂の32ページ、光村図書は50ページを見ていただきたいのですけれども、東京書籍は全部に言えることだとは思いますが、下に楷書の形、楷書の動き、行書の形、行書の動きという形で、それぞれ楷書と行書の違いについて丁寧に言葉でも示していただけているのがいいなと思いました。

教育出版は、楷書というのは立つ、そして行書は歩く、草書は走るという、この例えもとても分かりやすくいいと思いました。

三省堂は、行書というのは全体に丸みを帯びていて、楷書というのは全体に直線的で角張っているという形で、ざっくりとまず説明をしていただけているのが分かりやすいと思いました。

光村図書は、速さを意識して書いてみようということで、最後、行書を書くときにできるだけ速く書いてみようとなっていて、これも分かりやすくいいと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 それでは、私から申し上げますけれども、書写に関する生きて働く知識・技能としては、やはり身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさ、なかなか毛筆は遠ざかっているようなところもあって、身の回りに多様な表現を通して文字文化を豊かにしようという、そういうことに触れて、効果的に文字を書くという、そういうことが挙げられて、あるいは求められているのかなと思うのです。そういった点で見ました。

光村図書の文字を使い分けについては、78ページの楷書と行書の使い分けから始まって、80ペ

ページに行書を活用しよう、82ページに全国フォントを見つけたい、いろいろな字が出てきます。84ページは季節のしおり、90ページになると全国の文字マップが出てきて、99ページまでずっと続けて、防災フェスタを開こうというポスターの文字、あるいは避難所の看板を作るところで、毛筆あるいは硬筆、その他いろいろな文字の生かし方が極めて多くのページで割いてあげてあるというのが一つ特徴と思いました。

それから、光村では行書を速く整えて書くために一貫して書き方が示されています。何に着目してよいのか分かりやすくなっていると思いました。また、イメージをしやすいように、これはほかのところでも使っていますけれども、56、57ページあるいは60、61ページを見てもらうと分かると思いますが、文字を原寸大で示しています。点画の止め払い、先ほど話があったピタッという擬音語を使いながら分かりやすく表現しているというところがありました。さらに、これは教科書との連動なのですけれども、現在光村図書は国語の教科書で使っているわけですけれども、29ページの目次を見ると上の方に「国語」と書いてあります。これは教科書との関連ですよ。全体的に動画コンテンツ37本、写真が315点、これはかなり多く上げてあるわけで、分かりやすさが実感を伴うように工夫されているなどと思いました。報告書に見られるように現在使用しており、資料として使いやすい、資料が豊富で視覚的にも分かりやすい、あるいは日常に役立つ内容が豊富といったコメントにつながっていると思いました。

他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、ないようですので、次に協議2から4について、まとめてご意見等ございましたらお願いをいたします。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、資料に関係してくるかと思うのですけれども、先ほど東委員からもありましたように、QRコードを使って動画で教えるよさというのは、特に書写は出てくるなどと思いました。各社とも工夫されていると思います。特に筆の使い方として、そういったことについてやはり動画で見るということは非常に勉強になるのだなどと思いました。指導者が書いて見せればいいのでしょうかけれども、それが必ず全員ができるかというところ少し疑問なところもありますので、動画を上手に使うといいなどと思いました。それがまた有効で今の教科書はよくできているなど改めて感じました。

光村図書を使っていて心配していたところは、結構ページ数が多いのです。ただ、現場からすると逆にそれがいろいろと教える、あるいは作業させるのにいいと思っているのかなと思うのですけれども、その辺りについて選定委員会はいかがでしょう。

吉田教育長 選定委員。

神田選定委員 国語の教師とはいえ、当然学んではいるのですけれども、書写の部分については技

術の問題もありますので、ある程度得手不得手、苦手意識もあり、先ほどの動画コンテンツの多さや必要性も感じています。逆に今おっしゃっていただいたように、ページ数が多くて資料が多いことによって、教師が必要なとき必要なものをという選択肢が広がるというのは、授業者としてはとても助かります。

吉田教育長 その都度、「書写ブック」を取り外して使えるようにしている、それで多くなっていることもありますね。

神田選定委員 そうです。

吉田教育長 東委員。

東委員 小学校でも書写を使っていて、それとの連動性はどうかかなと思い、多分動画や説明の部分で似てくるのではないかと、手元には小学校の書写はないので、その辺はどんなふうに見られたのか教えていただければと思います。

吉田教育長 選定委員、お願いします。

神田選定委員 小学校と中学校のつながりのところでも、特に各社ともまずは小学校で学んでいる楷書を土台にして、中学校1年生では楷書でスタートしています。多くの学校でも毎年書き初め等もやるのですが、大体中学校1年生は楷書、そして2年生、3年生で行書をやる形にして、その接続をスムーズにできるよう、いきなり難易度の高いものに行くのではないような工夫はされています。当然そうしますとらせん的に学習はしていくものですから、小学校で学んだ点画がまた中学校でも改めて確認されたり、文字の画数であったり難易度が増していくことで、それを発展的に段階的に学ぶという工夫があります。つながりというところまでは行かないかもしれませんが、教育出版では121ページに小学校で学習した漢字の一覧表があり、そういうところを少し意識されているのかなと思っています。

吉田教育長 どの教科書もその系統性についてはある程度意識して書かれていると考えてよろしいですか。よろしいですか。

東委員 はい。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 選定委員の方にお聞きしたいのですが、現在は光村図書の書写のテキストを使っていると思うのですが、「書写ブックは学校でも大変よく使われている、これがないとなかなか大変だとか、そういうようなことはございますか。

吉田教育長 選定委員、お願いします。

神田選定委員 「書写ブック」があることで、まずここに書こうとすぐにできます。そうしないとまた別のもの、ノート、用紙、練習帳を用意しなければとなりますので、「書写ブック」があるというのは学校現場にとってはありがたいと思います。

吉田教育長 他にございますか。大体よろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 4つの観点について協議いただいたわけですがけれども、ほかの観点で協議したいという内容はございますでしょうか。それはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより書写の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計にあたり、立会人として、足立委員、渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	18点
15番	三省堂	20点
17番	教育出版	23点
38番	光村図書出版	30点

以上のとおり書写の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 これより昼休憩といたします。

再開は13時10分といたします。

休憩 午後 0時10分

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

数学の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

萩原選定委員 それでは、7つの発行者によるそれぞれの教科用図書の特色について、小学校の算数からの持ち上がり直後の1学年の教科用図書の正負の数という単元について、調査資料の1内容の部分を中心に説明いたします。

はじめに、東京書籍です。表紙が学校生活のアニメ風のイラストになっています。これをよく見ると、水たまりに写った様子が平面図形で学習する対称移動における線対称になっています。裏にもどう写るといような吹き出しが入っています。表紙をめくっていただくと、いろいろな物事と数学のつながりにマスコネクトというこの教科用図書のテーマについて書かれています。数学と社会のつながりを意識することで数学の有用性を実感させることを狙っています。

20ページ、正負の数は日常生活との関連を図り、天気予報における気温について取り上げています。23ページをお開きください。練習問題が豊富で、繰り返し問題を解くことで技能を身につけることができるようにしています。具体的に例題、問が各節で多数配置されています。また、問3のように必ず習得させたい問題にはハテナマークをつけ、意図的に振り返りながら学習することができます。次に、28ページです。節の終わりに基本の問題を配置し、各節で学んだ内容について関連問題を振り返れるようにしています。32ページ下の部分にありますクイックチェックという問題で、短いスパンで確かめと振り返りをできるようにしています。最後に、60、61ページをお開きください。章末に章の問題A、いわゆる基本問題と章の問題B、発展の問題を配置しており、個に応じた学習を進める工夫がなされています。

次に、大日本図書です。1学年の教科用図書表紙を見ていただくと、フェルトの人形たちと食べ物様子の写真が載っています。よく見ると数直線や扇形などの数学に関することを取り上げています。表紙をめくると琵琶湖の写真の背景に、「できた、分かったにたくさん出会おう」という、この教科用図書のテーマとその説明文が書かれています。

18ページ、日常生活との関連を図り、天気予報における気温について取り上げています。内容1について、19ページ「めあて」が初めに明記され、活動1から21ページの活動6まで、課題を解決しながら概念や原則・原理を理解できるような構成になっています。40ページは「たしかめ

よう」では、1番から5番まで、学習のめあてと学習してきたページを示し、自分のつまずきを振り返るようにしています。25ページ下の側注のキャラクターが既習事項との関連について触れています。また、プラスワンとして補足の問題があり、理解を深めることができます。62ページ章末に「1章を振り返ろう」という基本の問題と、63ページ「力を伸ばそう」という発展の問題を配置しており、個に応じた学習を進める工夫がなされています。

次に、学校図書です。1学年の教科用図書表紙についてですが、この模型が何かお分かりになるでしょうか。これをよく見ると、左下、斜め下の数字から3.14159265358979と、円を描くように円周率が並んでいます。裏を見ると、「宇宙をめぐる円周率」というタイトルのようです。QRコードを読み込むと何か見られるというふうになっています。これも数学の学習内容に関するタイトルになっています。表紙をめくっていただくと、「どんな立体」というタイトルで、身の回りにある建造物の写真を示し、数学と社会のつながりを意識させています。

10、11ページ、日常生活との関連を図り、サッカーの得失点、あるいは陸上競技の風速、天気予報における気温について取り上げています。1内容について、12、13ページをご覧ください。目標が設定され、問1から問4のように問題が豊富に配置されています。18ページ、節の最後に「確かめよう」を配置し、学習内容と関連問題が示されていて、振り返りができるようになっています。23ページ、重要な学習項目を鍵のマークがついた枠で囲って表記し、習得すべき学習内容を明確にしています。61ページ章末の「1章のまとめの問題」で基本的な内容を、応用、63ページには活用とそれぞれ配置されていて、個に応じた学習を進められるようになっています。

次に、教育出版です。1学年の教科用図書表紙は、身近にある三つ葉のクローバーの写真と中心核に関するイラストになっています。「算数から数学へ、学びの世界を広げよう」というテーマとその説明文が書かれており、下の部分には雪の結晶、風車、ツルニチニチソウの写真があり、表紙との関連があります。

24ページ、日常生活の関連を図り、サッカーの得失点、水位、海拔、レシートと天気予報における気温について取り上げています。1内容について26ページをお開きください。「例」の次に「たしかめ」を配置し、その後に「問」があり、スモールステップで学習を進めることができます。また、問の側注には補充問題のページを示して、個に応じた振り返り学習を進められるようにしています。33ページ、節の最後に基本の問題を設置しています。また、ここでも側注で学習内容と関連問題のページを示しています。63ページ章末には「学習のまとめ」があり、この章の基礎的、基本的な内容を確認することができます。章の問題の「確かめよう」で学習内容を確認ことができ、65ページ「力を伸ばそう」、さらに66ページ「学んだことを活用しよう」で発展的な学習に取り組めるなど、個に応じた学習を進められるようにしています。

次に、啓林館です。1学年の教科用図書表紙ですが、平面図形が並んでいるのと、よく見ると反比例のグラフもあります。図形のイラストになっています。ただ、キリンについてはよく分か

りません。タブレット活用を意識した「ICTの活用で広がる数学の学習」というテーマと、QRコード活用についてアナウンスしています。

13ページ、日常生活との関連を図り、ポストの設置地点や駅の高低等、最高気温と最低気温について、14ページでは天気予報における気温について取り上げています。1内容について、14ページ「〇〇について学びましょう」という形で、本時の課題が明示され、学習の見通しを持てるようにしています。新しい知識や技能が追加される場合、「ひろげよう」という形で示し、扱いやすい問題を提示してスムーズに学習を進めることができるようにしています。22ページ節の最後に練習問題を配置し、これまでの学習内容を確認できるようにしています。54ページ章末では単元の学びを確認する章末問題「学びを確かめよう」があります。55ページ下の「章のあしあと」で章全体を文章でまとめ、振り返ることができるようにしています。56ページ、章末問題「学びを身につけよう」では、さらに豊富な問題に取り組めるようにして力を伸ばすようにしています。

次に、数研出版です。1学年の教科用図書表紙は、円を中心としたモチーフのデザインになっています。こちらなぜフクロウなのか分かりません。「この教科書で学ぶ皆さんへ」というタイトルで、数学の学習について、SDGsに触れることで数学の有用性を実感させることを狙っています。

12ページをお開きください。ページ数は上に載っています。日常生活との関連を図り、サッカーの得失点や海拔、天気予報における気温、旅行者数について取り上げています。1内容について16ページをお開きください。「TRY」で学習内容を示し、「例」の後に「問」があり、何に着目すればいいかを明確にして学習を進めやすくしています。22ページ、節の最後に確認問題を配置し、関連ページも示すことで学習内容を確認できるようにしています。31ページ章節の最後、区切りのいいところに練習問題を配置し、習熟を図る工夫をしています。58ページ章末に問題A基礎、次のページで問題B応用を配置し、個に応じた学習を進められるようにしています。

次に、日本文教出版についてです。1学年の教科用図書表紙が、縦に数式とケーキの写真になっています。この数式ですが、何を表しているかお分かりになりますでしょうか。数学においてSというのはサーフェスエリアの頭文字の訳、いわゆる表面積を意味します。この数式のXは中心値、つまりこの式で扇形の面積を求める方式が表紙に示されているということになっています。身の回りとの関連を意識させるため、裏を見ていただくとケーキの写真の下にちょっとした説明文が載っています。空間図形に関する模型の写真と体積の比についての投げかけをしています。

1内容、12ページをお開きください。日常生活との関連を図り、天気予報における気温について取り上げています。14ページ上部に学習内容ごとの目当てを明記し、身につけるべき知識及び技能を明確にしています。18、19ページに例と問が交互に繰り返し配置され、何に着目すればよいかを明確にして学習を進めやすくしています。20ページ節の最後に基本の問題を配置しており、練習問題と関連ページがあって学習内容を振り返れるようになっています。54、55ページ、章の

問題で学んだことを振り返り、55ページの「取り組んでみよう」で安定的な学習に取り組めるようにしています。

最後に補足をさせていただきます。調査報告書の2資料と3表記・表現に係るQRコードによるデジタルコンテンツ及びUDフォントや色使いによるユニバーサルデザインにつきましては、どの発行者も充実しており、十分な配慮がなされています。また、デジタルコンテンツにつきましては、あくまでも補助資料と捉え、教科用図書を使って学習を進められるということが大切だと捉えています。

4総括に係る日常生活とのつながりにつきましては、ただいまご説明させていただいたとおり、どの発行者も十分に扱っており、こちらも大きな差異はないと捉えています。

以上で選定資料に関する説明を終わらせていただきます。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

足立委員。

足立委員 選定委員として推薦するのはどの教科書でしょうか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場においていらっしゃった方に提出していただいた意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員13名が7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍62点、4番、大日本図書31点、11番、学校図書32点、17番、教育出版31点、61番、啓林館51点、104番、数研出版31点、116番、日本文教出版33点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、62点の東京書籍、51点の啓林館、33点の日本文教出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

足立委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 結果を教えてくださいありがとうございます。それで、その点数がついたわけですが、選定委員会の中でどのような話題が出たのかもご紹介いただければと思います。

萩原選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、全国学力・学習状況調査で課題となっている「説明する力」を身につけられるような工夫があるかということです。

2点目は、数学は問題解決の過程が大切であるが、それを意識した授業づくりができるような工夫があるかということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、また、その主な理由についても教えてください。

萩原選定委員 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く15票、続いて啓林館5票という結果でした。

推薦理由といたしましては、東京書籍では、章末問題や解決までの流れが明確で分かりやすい。導入が工夫されており学びに興味を持ちやすい。既習事項とのつながりを意識して学習を進めることができるつくりになっている。

啓林館では、基本的な問題から応用問題まで幅広く、個々に合った取組ができる。問題数が充実しており、思考力を養う問題の設定がされているなどの意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 小学校の算数科との関連は、各社どのように表示されていますでしょうか。

萩原選定委員 東京書籍から説明させていただきます。教科用図書1ページ、目次をお開きください。目次の側注、右側の部分に前の学習として、小学校の内容とのタイトルが示されています。また、12ページ、珍しい形なのですが、ゼロ章として整数の性質、タイトルとしましても、算数から数学へというところで関連をつけています。また、32ページ、側注の中ほどになります。「ちょっと確認、算数」ということで、算数でどのような学習をしたかを表記しています。最後に256ページ、巻末になるのですが、「学びのベース、算数まとめ編」で、算数で学んだことを分かりやすく要約して表記をしています。262ページまで確かめ編が表記されています。

次に、大日本図書です。こちら目次をご覧ください。「これまでに学んだこと、小学校」という表記をして、小学校の学習内容との関連を示しています。また、16ページ中ほどで、用語の表記と小学校の算数振り返りの案内ということでページ数が示されています。そこに示されている280ページをご覧ください。「小学校算数の振り返り」で、項目ごとに小学校で学んだことが285ページまでまとめて表記されています。

続いて、学校図書の目次をご覧ください。小学校で学んだことともに、その学習内容のタイトルが明記されています。8ページ「振り返り、算数から数学へ」というタイトルで、算数の学習内容について振り返っています。24ページ側注、右側にありますが、振り返り、小学校の学年が表記され、学習内容について記載されています。最後に294ページです。こちら巻末に小学校の振り返りとして小学校の計算のページがあります。

次に、教育出版です。同じく目次に振り返り、小学校の学習内容が記載されています。また、13ペ

ージ「第1章整数の見方」で、小学校のときに学んだ整数との関連を示しています。29ページ中ほどやや上の右側に「算数から数学へ」ということで表記がされています。46ページ中央やや下側の側注にあります「戻って確認」、ここでも苦手な子が多い、速さ、時間、道のりについて振り返れるようになっています。最後に、「学びのマップ」290、291ページ、小学校の学習内容がずっと296ページまで続いています。

続いて、啓林館です。20ページ側注に振り返り算数ということで算数との関連を示しています。248ページで「学びを振り返ろう」ということで、速さ、時間、道のり、割合、小数、分数の計算など小学校での学びを253ページまで振り返れるようになっています。

続いて、数研出版です。11ページをお開きください。正負の数の章の前に振り返りということ、今までの分数、小数、計算の順序など小学校の内容を振り返るようになっています。こちらの巻末もまとめてあります。292ページ、下段が中学校1年生、上段が緑色の部分で算数という形で、小学校の算数との関連をそれぞれの章について299ページまで示されています。

最後に、日本文教出版です。0、1ページの目次の算数で学んだことを左側の側注でそれぞれの章に関連する内容を表記しています。11ページ、章を学ぶ前にということ、「確かめ算数」という形で側注に表記をしています。巻末の振り返りで264ページ、算数の確かめとして、こちらも巻末に今まで算数で学習した内容をまとめて268ページまで表記をしています。

以上が小学校算数との関連になります。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員には1号委員として保護者がいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

原田選定委員長 数学的な考え方が日常生活と結ぶような工夫があるか、また答えにたどり着くまでに多様な考えを引き出したり多様な考えを認め合えたりするような工夫があるといい、というご意見をいただきました。

吉田教育長 よろしいですか。

山口委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 先ほど質問させていただいた選定委員会での話題の事項なのですが、「説明する力」という視点で見られたということですが、この「説明する力」というのは、それぞれの教科書会社で、例えばどの辺を指していますでしょうか。

萩原選定委員 それぞれの教科書会社で工夫をされています。

まず、東京書籍では、34ページから37ページ、Qから始まる、考えてみようという質問を通して解決の見通しを持たせ、考えを説明する活動ができるようになっています。

次に、大日本図書です。39ページにあるQ7ですが、その下に「伝えよう」というマークをつけて思考力・判断力・表現力を養う工夫をしています。相手に説明をするという工夫をしています。

次に、学校図書です。12ページ、クエスチョンのところに男の子と女の子、吹き出しにしながら対話形式にすることで、自分の考えを他者に分かりやすく伝えるためにどうすべきかを段階的に考えるような吹き出しになっています。

続いて、教育出版です。37ページで問9の下を見ていただくと、みんなに説明しようという説明が書いてあります。論理的に考察する力を育む工夫をしています。

啓林館です。21ページ中ほどに旗が立っていて、「説明しよう」というような活動が表記されています。22ページの上部にも「説明しよう」となっていますが、このような活動で生徒が話し合ったり考えを伝え合ったりする協働的な学びを行う場面が設定されています。

数研出版です。31ページの上のQに関して4人の生徒が話し合っている様子と、それとともにその下に先生が質問を投げかけて、この問題を通して説明をする力をつけようとしています。

最後に、日本文教出版です。34、35ページ問2に「考えよう」と示してあり、「話し合おう」、「深めよう」などというマークで思考や活動の視点を意識づけしています。

以上が説明する力をつけるための工夫となります。

吉田教育長 そういうマークやイラストで示されたようなところを取り立てて、教師に働きかけてということですね。

萩原選定委員 はい。

吉田教育長 よろしいでしょうか。

東委員 はい。よく分かりました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、質疑は以上とします。

これより協議に入ります。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等はございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 数学は特に小学校との連携、接続がとても大切だと思うのです。そして、教科書もやはり厚くなっていることから、子どもたちがまず目次を見たときに、こんなことを勉強するのだというのが分かって、さらには小学校でもやったというのが分かることが大切かと思ひまして、その点でまず見てみました。例えば、学校図書1ページの目次、啓林館1年生の10ページ、その2つ

を比べると、学校図書は目次に、これまで学んできたことということで小学校での学んだことが具体的に書いてありまして、啓林館は、目次を見ただけではそれが分からない形になっています。小学校との連携がすぐ分かるのが学校図書、日本文教出版、教育出版、大日本図書だと思います。一方、目次を見ただけでは小学校との関わりが分からないのが、啓林館と数研出版が少し分からないということ、東京書籍は、小学校との連携は書いてあるのですけれども、章の下に節があるのですけれども、目次の章が分かりにくくなっています。多分独特の章立てをやっていると思うのですけれども、子どもたちが見たときにいかなものでしょうか。選定委員さんにお聞きしたいのですけれども。

吉田教育長 選定委員。

萩原選定委員 実際に教科用図書を使う場合には、目次を見てその章の始まりということはありませんかと思いますが。学習している途中に「算数、振り返ろう」のような注釈があれば、関連事項を巻末にまとめて書いてあるところで振り返れるという形については、全ての教科書会社にありますので、生徒が学習を進める上で、目次を見て学習をするということはあまり少ないケースかと思いますが。学習している最中に振り返れるような工夫があるほうが、生徒にとっては振り返りやすいのかと捉えています。おっしゃるとおり目次では2社が書いていないということはありましたけれども、実際に学習を進めていく上ではそれほど支障はないかと思われま。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 日本文教出版の89ページ、数研出版の95ページですけれども、この2社は、次の章に入る前に章の振り返り、次の章で何を学ぶかということ振り返るところが各章できちんとできていてよいなと思いました。

吉田教育長 多分にページのところに見られるのは外観、教員にとっては全体を見るときには役に立つのでしょうか、生徒は教科書の中に直接書かれていたほうが分かりやすいのでしょうか、そういった違いであろうかと思いますが。

よろしいでしょうか。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 以前と比べてやはり各社とも問題解決能力を高めるような工夫がたくさんされていると思いましたし、また定着を図るような練習問題についても工夫、充実されていると思いました。小中との連携についても明確に書いてあるところが多くて、そういうところも工夫していると思いました。問題解決能力を本当に高めるのであれば、あまりヒント的なものがあると思力がなかなか高まらないのかとは思うのですけれども、かといって、教科書ですので、新任の先生が教えるということもありますので、そういう点を見て、非常に意味盛りだくさん

といいますか、いろいろなことを書かれている教科書になっているのだと思いました。

その中で、東京書籍では、先ほどの話にもありましたけれども、習熟度に合わせた豊富な問題ということで、練習問題とか補充問題、まとめの問題のバランスがとてもよく書かれていると思いました。ある意味、メリハリがあって、これは絶対にできるようにするような問題、それから発展的に取り組む問題については、章末の問題で扱うという形にしてメリハリをつけて、生徒の力に応じた練習に取り組みやすいように工夫していると思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 私から、説明が非常に要領よくて分かりやすかったのですが、系統性が意識できるような工夫である、あるいは寒暖計があったり平均身長もあったり、必要性和その意味を理解させた上でこの課題提示をしている工夫、さらには数学的な目で振り返らせようという工夫というのは、どの教科書会社もなされているのがよく分かりました。

1点ですけれども、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めると言われているところですが、特に個別最適な学びについて、東京書籍では少し選定委員の説明の中でも触れられておりましたけれども、例えば野口委員からもありましたけれども、1年生の22、23ページ間1、間3は、ハートマークをつけているのです。ハートマークをつけているということは早い段階で身につけてほしい、とにかく早く基礎的な力として身につけてほしいという意味なのでしょうか。32ページの下のクイックチェックにもハートマークがありますね。

萩原選定委員 早い段階で振り返れるというチェックだと思います。

吉田教育長 巻末の266ページ、補充問題が出てくるのですが、少し印が小さいのだけれども、少し難しい問題に星印をつけている。こうしたところに特色が出ていると思いました。このことについて報告書で、主体的な学びを後押ししている、あるいは振り返りチェック問題があり、つまづきを早く知ることができる、さらには自学自習に使いやすくなっているというようなコメントがあったわけです。それにつながっているのかと思いました。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 数学という教科の特色というか特徴だと思うのですが、もちろん表現力だということが必要なのですが、計算ができる、問題を解くということも、ある程度大事な分野だとは思いますが。そういった面で、章末の問題とかが充実している、分量もある、章末問題もレイアウトがあまりカラフルではなくて、問題がずっと集中して解きやすくなっているというのも大事なのかなと思います。

数学に関しては、東京書籍と啓林館はかなり練習問題が充実していて、こういったところも学校として使いやすい部分もあるのかなと考えました。

吉田教育長 他にどうでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 個別最適な学びということですので、節の終わりの練習問題や章末問題というのは大切だと思うのです。それで、難しいそのチャレンジ問題というのが幾つか使われている出版社もあると思うのですが、比較してみますと分かりやすいと思いましたが、例えば数研出版は章末の問題A、B、そして活用という形で、分かりやすいなと思いました。教育出版も章の終わりの問題で、まず「確かめよう」というのがあって、そこから「力を伸ばそう」、そしてその次に「学んだことを活用しよう」というふうに、段階的に問題が用意されていていいなと思いました。学校図書につきましては、章のまとめの問題として「基本の問題」、「応用の問題」、「活用」、そして「深めよう」という形で上のほうに書いてあるので、これも子どもたちにとっては分かりやすくてよろしいかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 それでは、次に観点の2から4については、先ほど来お願いしていますけれども、まとめてお願いをいたします。

調査項目の2から4についてご意見等はございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 問題の左にチェックボックスがどの会社もついていて、これはとてもいいなと思うのです。一度授業でやってみて、復習するときに役立つと思うのです。そして、少しずつそのチェックボックスのつけ方も違っていき、そのチェックをつけるところが丸であったり四角であったり、教育出版につきましては、例えば169ページ、章末の問題で二重丸、丸、三角という形で評価といいますかチェックをつけるようになっていて、これも面白いなと思いました。啓林館につきましては、ほとんど全てに、章末問題のところにチェックが全てついていて、計算問題にも一つ一つチェックがついていて、これはこれで、先ほど申しましたように、子どもたちができたかできないかというのが後で復習したときに分かりますので、よろしいと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 数学の場合、自分で問題を解くというか復習をしたり予習をしたりという使い方ができるなと思っていて、それでやはり本当に今の教科書は進んだと思うのですが、QRコードでどんどん問題、補充していったりできるのです。そういう視点で並べたときに、東京書籍はQRコードの位置が大体一定していて、全部を開いたわけではないのですが、とても使いやすい感じがしました。これに近いのが数研出版で、リンク補充という形で、脚注的に全部入れてあって、啓林館も大体位置は一緒なのですが、補充問題という形で、ただ量的にはやはり東京書籍はすご

く充実していて、各社が補充やリンクという形で、数研出版は少し説明するというか、問題を1問ずつ出してくれるような感じで、すごく工夫されているなどと思います。QRコードからどういうことができるのか、1人で自学自習をどのくらいできるのかというのは、少し判断するときのポイントになるかなと思いました。

吉田教育長 他にはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 この4つの観点以外に協議したい内容等ございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより数学の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計点が最も高いものを採択といたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、東委員、山口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	30点
4番	大日本図書	19点
11番	学校図書	19点
17番	教育出版	18点
61番	新興出版社啓林館	25点
104番	数研出版	20点

116番 日本文教出版 19点

以上のとおり数学の教科用図書は、2番、東京書籍を採択することに決しました。

次に、音楽（一般）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊東選定委員 それでは、音楽（一般）は資料を縦に読みながら教科書ごとに説明をさせていただきます。2・3上の教科書を使用して説明をさせていただきます。

まずは、教育出版の8、9ページをご覧ください。1内容（1）知識及び技能が習得されるようにするための工夫について、各学年の学習段階に応じた教材が「学習Map」で示されており、各題材の目標の定着に適した教材を配置しながら学習の理解を高めることができるような工夫がされています。具体的には、9ページ「曲の形式を生かして歌」をご覧ください。この項目に示されている教材は3曲あり、その歌唱教材で学んだ形式についての知識を矢印の先にある鑑賞の教材である交響曲第5番を通して活用することができるなど、「学習Map」を見ることで教材のねらいの系統性を理解することができるようになっていきます。

14ページをご覧ください。（2）思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫について、幾つかの教材に「Active!」というページを示し、生徒たちが目標達成に向けた具体的な視点を意識しながら主体的に学ぶことができるような工夫がされています。教材の学習のねらいに到達するためのヒントをキャラクターの吹き出しで掲載し、生徒たちの気づきを生かしながら主体的に学習できる工夫がされています。また、各教科書の鑑賞の教材を1つずつ、「どんな特徴があるかな？」という項目を設定し、共通事項を手だてとして、教材に対する理解を深められるように工夫されています。

（3）学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫について、巻頭のページ、2、3ページに「With My Heart音楽はメッセージ」と、3、4ページに「作者の思いにふれる」というページを掲載し、現在活躍している演奏家とベートーベンやシューベルトなどの著名な作曲家の言葉やエピソードを掲載し、歴史を超えて音楽に関わる音楽家の思いを感じられるように工夫されています。2ページでは、こんな音楽を聞きたい、演奏してみたいという気持ちを大切にという演奏家の思いを、4ページでは芸術だけが私を踏みとどらせたのだという作曲家の思いを隣のページで掲載し、両者の関わりによって芸術が生まれていくことが感じられるような工夫がされています。

（4）音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫について、15ページをご覧ください。生徒たちの発達段階を配慮し、学びの系統性を踏まえた学習ができるように歌唱曲やコーナーが設置されています。「sing! sing!」というページでは、歌う前のストレッチや母音の発音などを掲載してい

ますが、1年生の教科書では歌う姿勢や息のコントロールなどの基礎的な内容が掲載されており、歌唱技術を習得するための手だてが系統的に形成されています。32ページに創作教材「音のスケッチ」というコーナーが掲載されており、小学校や中学1年生のときに学習した内容を踏まえながら創作の学習を発展することができるように工夫されています。

(5) 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫について、64ページに著作権などの生徒たちの実際の生活に関わる内容が紹介されている「私たちの暮らしと音楽」というコーナーを掲載し、社会の中の音楽の働きを理解できるように工夫されています。

次に、2資料です。(1) 学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるかについては、各教材に「まなびリンク」という二次元コードが配置されており、生徒たちが持っているタブレットで説明動画や範唱を見ることができるように工夫されています。

(2) 音符、写真、図表等の資料のレイアウトにどのような工夫がみられるかでは、歌唱教材のほとんどが見開きページとなっており、歌唱の活動をするときに活動に集中できるような配慮がされています。また、範唱の学習では、教材で演奏される楽器の写真を様々な場所に掲載しており、教材の内容の理解だけでなく、演奏している場面もイメージしながら学習できるように工夫されています。

次に3表記・表現ですが、教科書の楽曲全ての音譜や記号、歌詞が適切な大きさと記載されています。鑑賞教材では指導のポイントに合わせて必要な譜例が掲載されており、理解が深まるような配慮がされています。

最後に、4総括ですが、教材が全て系統的に学習できるように配置されており、既習内容を意識しながら3年間にわたって歌唱、鑑賞、創作の3つの観点を学習できるように工夫されています。

また、発展学習のコーナーも配置し、音楽の学習と他教科との学習との横断的な学習が進められるように工夫されているとともに、小学校での学びを引き継いだ学習が展開できるように工夫されています。

続いて、教育芸術社の1内容(1)の鑑点です。2・3上の8ページでは、各学習活動の観点別のねらいが書かれており、それに応じた教材も示されています。各教材にはねらいに到達するための手だてである共通教材が書かれており、教材の目標を生徒たちが意識しながら学習できるように工夫されています。

(2)の観点について、16ページをご覧ください。生徒たちの表現力を高めていくため、「学びのコンパス」というページを配置し、ここで掲載されているワークシートを進めていながら、教材のねらいに迫れるように工夫されています。ここでは、全ページで学習した混声3部合唱の「翼をください」を基に、共通事項を意識しながらパートの役割を学ぶことができるように工夫されています。また、完成した表を周りの友達と共有し、友達の意見を参考にしながら自分の表

現を工夫することができるようになっていきます。

(3)の観点についてです。巻頭に生徒たちにもなじみのある様々なジャンルの音楽家のメッセージを掲載し、生徒たちが意欲的に音楽活動に参加できるように工夫しています。2ページではテレビ等で活躍している歌舞伎役者の松本幸四郎さんと市川染五郎さん、4ページには人類進化学者の海部陽介さんを紹介し、なじみの薄い日本の伝統音楽や世界の民族音楽を紹介しながら、幅広い音楽文化に親しめるように工夫されています。ちなみに、1の教科書では、上白石萌音さんや宇宙飛行士の野口聡一さん、2・3下の教科書にはピアニストの反田恭平さん、アートディレクターの森本千絵さんが紹介されています。

(4)の観点について、17ページをご覧ください。歌唱教材については発達段階に応じた声域や歌詞の内容を考慮した教材が、1年生の教科書をスタートとして系統的に配置されています。また、表現の自主的な能力を高めることを意識したページも掲載されています。今見られている「My Voice!」というコーナーでは、今まで歌唱教材を通して学んできた曲の構成やパートの役割などの知識と、ここをこういうふうに歌いたいという思いや意図を活用しながら、歌唱で表現するために必要となる技能を高めることができるように工夫されています。キャラクターの吹き出しを用い、生徒たちが感覚的に捉えることができるようになっていきます。また、創作の教材では、小学校における既習内容を生かして学習活動を進めることができるように工夫されています。30ページ「My Melody」では、小学校で学んだリズム創作の技能を生かしながら、国語で学習する俳句のリズム、民謡音階の音を組み合わせ、創意工夫をしながら旋律創作ができるように工夫されています。また、その作品を友達とも共有しながら表現を深めることができるようになっていきます。34ページ「Let's Create!」では、生徒たちが共通事項を意識して創作したリズムを中心とした作品を、友達と重ねながらアンサンブル活動を行い、協働的に学習を進めながら学習内容を深めることができるようになっていきます。

(5)の観点については、91ページ、生活や社会の中の音楽のページでは、演奏家が開くワークショップの活動や時代の変化によって音楽を味わう方法が変わってきていることを紹介し、社会の中での音楽が様々な形で生徒たちの生活に関わっていることを学習できるように工夫されています。

続いて、2資料です。(1)の観点ですが、様々な教材に二次元コードを配置し、生徒たちの手で必要な情報を得ることができるようになっていきます。また、日本音楽の教材では、演奏者からのアドバイスを掲載して、生徒たちの興味関心が高まるような配慮がされています。

(2)の観点では、各教材にキャラクターを配置し、吹き出しに教材のポイントを掲載しながら、生徒たちがねらいを感覚的に把握できるように工夫されています。

続いて、3表記・表現ですが、表記については、文字や音譜が適切な大きさと表記されています。学年の学習では、全学年の教科書の巻末に音楽の約束のページを設け、いつでもそのページ

を見ながら生徒たちが主体的に学習できるように工夫されています。

最後に、4総括ですが、小学校での既習内容を考慮した教材が配置され、系統的に学習できるように工夫されています。また、各鑑賞教材のページに、「この頃、日本では…!？」というコーナーを設け、他教科との関連が図れるように工夫されています。

以上で音楽（一般）の説明を終了いたします。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

山口委員。

山口委員 選定委員としてどの教科書を推薦するのでしょうか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場においていらっしゃった皆様の提出した意見などを参考にして協議をいたしました。協議終了後、選定員13名が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果につきましては、17番、教育出版47点、27番、教育芸術社63点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、63点の教育芸術社、47点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員会ではどのような話題が出たのか教えてください。

伊東選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、音楽の授業の中でも対話的な学びを進めることが重要であるが、それらの工夫があるかどうか。

2点目は、鑑賞後、音楽を楽しむための活動ではあるが、楽しく鑑賞できるような工夫はあるのかということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 学校の調査報告書では、どの教科書会社の推薦が多かったのでしょうか。また、その主な理由について教えてください。

伊東選定委員 学校からの推薦では、教育芸術社を推薦する学校が最も多く14票、次いで教育出版4票という結果でした。

推薦理由といたしましては、教育芸術社では、小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視

して学習内容を配列している。音楽を形づくっている要素の関連する記述が見やすい。歌唱教材において、生徒が自主的に表現の工夫ができるように整理されている。

教育出版では、創作活動が充実しており興味深い。歌唱の楽譜、資料が多く載っている。解説が専門的で、より深く学ばせることができるなどの意見がありました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 音楽の創作活動についてですが、なかなか自分の思いや考えを音楽で表現できない生徒の中にはいると思いますが、そういった生徒に対する工夫はありますか。

伊東選定委員 どちらの教科書も小学校の既習内容であるリズム創作を生かしながら簡単な旋律創作の学習につなげる配慮があります。教育出版は、1の38ページで最初に簡単な歌詞を作り、そこに既習内容であるリズムを当てはめ、音の高低をつけていきながら旋律創作をしていきます。また、教育芸術社は、同じく1の20ページでリズム創作をした後、和音記号を基にしながら音をはめていく学習が行われます。どちらの教科書もまずは簡単な旋律を作り、それを基にしてリズムや音を変化させ、試行錯誤しながら完成させていく学習を行っています。簡単な旋律創作を1年生で学習した後、2、3年生の学習では既習内容を発展させ、思いの意図を生かした創作活動ができるように系統性を意識した内容の配慮がどちらの教科書についてもされています。

ちなみに、教育出版ではこの後2・3上で「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」を、下では「CMソングをつくろう」を学習します。また、教育芸術社では、2・3上では「言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう」、2・3下では「和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくろう」を学習します。旋律創作の楽しさを味わった生徒たちには学年を追うごとにさらに発展的な学習ができるように配慮されています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 選定委員会の中には第1号委員で保護者の方がいらっしゃったと思いますが、どのような意見が出たかご紹介いただければと思います。

原田選定委員長 ご意見では、音楽は芸術を楽しむ教科だと思いますが、その中で癒やしの部分もあると思うので、そのような面で教材に工夫があるといいというご意見をいただきました。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 追加で質問ですが、その癒やしがあるといいというご意見だということなのですが、実際にこの2社のそのような工夫はどこにありますか。例があれば教えて下さい。

伊東選定委員 癒やしというところを特に注目して挙げている部分は特にはないのですけれども、どちらの教科書についても友達と協働しながら音楽活動を進めていくというような内容が組み入れられていて、やはり1人ではなく、友達と音楽を作っていくながら音楽効果を高めていく、そ

してそれを癒やしというか音楽の喜びに味わえるような、そのような計算がされていると感じています。

吉田教育長 見ていると、作者の言葉や作曲家のメッセージ、多分そういうものを感じながら情感豊かに歌う、聴く、あるいは奏でる、そういうようなことも癒やしに入るのではないのでしょうか。非常に楽しんでいるというのがよく伝わってくる授業を見るのだけれども、一番は創作活動で、特にリズムを覚えながら、自分たちで作りながらという授業です。私たちの教科書はこのようなものはなかったから、曲を作るという、そういうものも癒やしに何かつながるような気がします。癒やしというところと少しくくりづらいところもあるのだけれども。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、質疑は以上とします。

これより協議に入ります。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等がございますか。

足立委員。

足立委員 各社とも写真がすごく有効に使用していて、見開きで出していて、生徒はその単元に入るときにすっと入り込みやすい写真の使い方をしているなと感じました。左端に、どちらの会社ともそのときにイメージをもたらし「秘密を探ろう」、「豊かな表現を鑑賞しよう」など、そのときに授業で取り扱うことを載せていて、分かりやすいなと感じました。

また、どちらの会社も、日本文化、世界文化もかなり多く取り入れていて、日本だけではなく世界の音楽を感じることができるつくりになっているなと感じました。それだけでなく、音楽と一言に言っても、かなりバラエティーあるものと思うのですけれども、教育出版では音楽の種類を細かく取り扱っていて、ブルース、ゴスペルについても説明していたり、教育芸術社ですと、知っているようで知らないミュージカルの音楽や映画音楽も説明していたりと、いろんな知識を得られるようなつくりになっていると感じました。

先ほど教育出版で、SNS、著作権の取扱いについて触れているとなっていました。教育芸術社でも1年生、2、3年生の下で、「ルールを守って音楽を楽しもう」というものを掲載していて、ネット社会、SNSがかなり広がっているこの世の中、こういったことにも生徒たちに注意喚起するのが大切なことだなと感じました。

吉田教育長 他にはございませんでしょうか。

山口委員。

山口委員 我々は西洋音楽と接する機会は多いと思うのですけれども、意外と能というのはなかなか勉強する機会も少ないと思うので、学校の教科書って大事だなと思うのですけれども、例えば

能については、教育出版では2・3上の57ページに歌と太鼓と並べてオーケストラの楽譜みたいな感じで分かりやすく書いてあって、教育芸術社は2・3下の48ページに歌の特性、それから50ページに太鼓の音を書いてあって分かりやすいなと思いました。どちらが分かりやすいかというと、どちらも工夫があるのですけれども、特に教育出版の歌と太鼓の関連が分かりやすくなっている、なかなか能を楽しむときのガイドブックは欲しいなと大人でも思っているものでもすけれども、非常によくできているなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 教育出版の最初のほうに「学習Map」、教育芸術社の巻頭に「学習Map」的なものを出しているのですけれども、どちらも歌唱や創作、鑑賞について分かりやすく教材の構成をされているなと思いました。また、写真、挿絵も適切で、特に昔からの歌と現代的な歌についてもバランスよく配分して教科書を作っているなと思いました。表紙の作りを見ても、どちらかというと教育出版社は伝統的な装丁、教育芸術社は若干現代的なアニメ風の絵を使っているなど、その辺の違いもあるのかなと思いました。現場では教育芸術社のほうが親しみやすいという判断もあったのかなと想像しました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 私から、音楽の多様性の理解と音楽表現に必要な技能、これを身につけることが求められていて、なおかつその表現の仕方を考えさせて創作活動に結びつけるのだと、こういうことが求められているかと思うのですけれども、この辺で巧みにそういう教材を配列しているなと思ったのが、教育芸術社の1で見えますと、まずは音声、発声の仕方を14、15ページで学習をして、18、19ページでは旋律であるとか音量の強弱であるとか、いわゆる音楽の要素にも着目させて、そして21ページ「My Melody」につなげる学習を通して創作表現に関わる技能、さらには40、41ページで、今度は「音楽を指揮で表現しよう」ということで、指揮まで勉強するのかと少し思ったのですけれども、指揮を学べるようにしています。こういうような巧みな配列を通して創作活動に結びつけているなと思いました。

また、山口委員からもご指摘ありましたけれども、教育芸術社の34から36ページにあるように、幅広い分野から教材を取り入れて音楽に対する理解を、いわゆる文化的な側面から総合的に捉えさせるような、そういう工夫がされているなと思いました。

こうしたことから、報告書に見られるように音楽を形づくっている要素に関する記述が見やすいであるとか、あるいは歌唱、創作、鑑賞のバランスがよく配列されているとか、あるいは内容が分かりやすく充実している、そういうコメントにつながっているのかなと思いました。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、次に観点の2から4についてですけれども、まとめてお願いをいたします。

調査の観点2から4についてご意見はございますか。

足立委員。

足立委員 音源をQRコードで載せていたりしていますが、先ほど選定委員のご説明があった著名人の方が巻頭に載っていたり、その方たちのメッセージが実際にしゃべっている姿で載っていたり、教育出版でも載っているアーティストの事細かなプロフィール、写真などがQRコードに載っているのが見受けられたので、各社ともQRコードの使い方に大変工夫が見られるなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 教育芸術社は「学びのコンパス」というのがグループ活動につながりやすい誘い方をしていて、これは多分先生方にお聞きしないと分からないのですが、授業がやりやすいというか、グループで何か取り組みやすいかなという印象は受けました。

一方、教育出版は表現、「CMソングをつくろう」、「コンピューターで表現しよう」など、もうコンピューターで音楽作るというのをここでやるのだなと思って、ただそのグループはあまり前提にしていなくて、いろんな表現の仕方というのを個人ベースで考えていくという、そういう特徴があって、これは使い方によってどっちがいいのかというのは先生によりけりだと思いますが、ただ今、主体的で対話的な深い学びというアクティブラーニング的なことを考えると、グループ的なものに引っ張っていけるものというのは一つメリットになるかなとは感じました。

吉田教育長 授業者から感想なり何かあれば、東委員、特によろしいですか。

東委員 もし先生としてはどちらが使いやすいなど、何かあればお願いします。

吉田教育長 選定委員としてではなくて授業者としてお願いします。

伊東選定委員 授業者として考えると、協働的な学びという、友達と意見を交換しながら学びを深めていくということは、とても大事な事かなとは思いますが、それと同時に、それが友達と協働するということが何か大きくなり過ぎてしまって、自分の意見が全くないのに協働的な学習をしているというようなことも、そんな授業があることも少し見ているのですが、そういう面ではやはり個人の意見をしっかり持つということも一つ大事な事なのかなと思います。先ほど委員さんが言われたように自分の意見をしっかり持つというような観点、それと友達の意見を取り入れながら自分の意見をつくっていくという観点というところで少し色合いが分かっているのかなと思いました。

吉田教育長 少しうがった見方があるよね。

東委員 いえいえ、よく分かりました。参考になります。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 教育出版は「Let's Try」から始まって、資料のところがすごく分かりやすく書かれているという印象を受けました。また「歌のアルバム」もいろいろな外国の曲もあり、「雪の降るまちを」などの古い日本の歌謡曲のようなものがあり、多様性に富んでいるという印象を受けました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは、別な観点での協議したい内容等はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより音楽（一般）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、野口委員、東委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価の合計を読み上げます。

17番 教育出版 25点

27番 教育芸術社 30点

以上のとおり、音楽（一般）の教科用図書は、27番、教育芸術社を採択することに決しました。

次に、音楽（器楽合奏）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊東選定委員 それでは、器楽について、先ほどの音楽（一般）と同様に縦読みで教科書ごとの説明をさせていただきます。

教育出版、1内容（1）の観点、6ページをご覧ください。楽器が管楽器、弦楽器、打楽器のジャンル別に掲載されており、それぞれの段階に応じて課題が明確に表示されています。学習する楽器の提示方法ですが、左側のページ、リコーダー、篠笛、尺八の管楽器が、右側のページにはギター、箏、三味線の撥弦楽器とその下に打楽器が掲載されており、和楽器と西洋楽器の区別なく各楽器が配置されており、同じ種類の楽器だけれども、楽器ごとに音色の変化があることを感受できるように工夫されています。10ページの上に学びのねらいを明確に示しており、各教材の学習の中で、ただ技能の習得をするだけではなく、生徒たちがねらいを意識しながら学習できるように工夫されています。

（2）の観点、30ページをご覧ください。生徒たちが様々な楽器を学習する際、創意工夫のヒントとなるように「表現の仕方を調べてみよう」というコーナーが配置されています。同じく吹く楽器ではあるけれども、音色や特徴が全く違うものであるということを生徒自ら気づくことができるようになっていきます。また、各自が学習した内容を「話し合おう」のコーナーで、協働的な学習を通して深められるように工夫されています。また、64から96ページまでは、「合わせて演奏しよう」というコーナーがあり、前半の基礎的な学習で身につけた演奏技能や音楽（一般）で学んだ創作の技能を生かしながら、仲間とのアンサンブル活動を通してたくさんある教材を選びながら、協働的にアンサンブルを学ぶことができるように工夫されています。

（3）の観点、31ページをご覧ください。各楽器の切り替わりの部分には「発展」というコーナーを設置し、生徒たちの学びが深められるように工夫されています。諸外国の楽器を資料として写真で示し、様々な国の音楽文化を感じ取りながら学習のまとめができるようになっていきます。また、巻頭の2、3ページには、日本も含めた様々な民族楽器が写真つきで紹介されています。これは、この教科書に掲載されている楽器で、自分が学習した内容を、写真を見ながらイメージを膨らませることができるように工夫されています。

（4）の観点については、楽曲が平易なものから順に掲載されており、生徒たちの実態に応じて表現の技能が高められるように工夫されています。また、そこで高められた技能を広げるための様々な工夫がされています。76ページ「Let's Try」のコーナーでは、比較的難易度が高いアンサンブル教材を掲載し、演奏技能をさらに高める工夫がされています。「サザエさん」、「風の通り道」、ほかのページには音楽（一般）で学習した「春」、ディズニーの「A Whole New World」などのリコーダーアンサンブルが掲載されています。聴き覚えのある曲だからこそ譜読みの時間が短縮され、器楽アンサンブルの学習に集中できるようになっています。98ページ「名曲旋律集」のコーナーでは、音楽（一般）で扱っている楽曲を生徒たちが取り組み、興味関心を高めながら技能の向上が図れるように工夫されています。この楽譜では「赤トンボ」を箏で演奏できるように

なっており、歌うだけではなく和楽器の音の響きを通して、さらにこの曲を味わうことができるように工夫されています。

(5)の観点、4ページをご覧ください。社会生活の中の音楽として巻頭に、近年変化している楽器演奏のスタイルについて紹介されています。ここでは、町なかの公共の場所に設置されているストリートピアノが掲載されています。駅や空港に設置されているピアノを自由に弾いている動画がユーチューブ等でもアップされており、聴きに行かなければいけない敷居の高い楽器というところから、手軽に聞きに行ける身近な楽器となり、生活の一部となりつつあるピアノを紹介しています。

続いて、2資料についてです。(1)の観点では、楽器ごとに「まなびリンク」という二次元コードが配置されており、インターネットを利用して学習できるように工夫されています。

(2)の観点では、学習している楽器の疑問点を自分で確認できるような様々な工夫がされています。8ページではアルトリコーダーのドレミファソの音を学習するのですが、教材を学習しながら、新しく取り組む運指を生徒たち自身で教科書を見ながら学習を進められるように工夫されています。

3表記・表現について、全ての音譜や記号、歌詞が適切な大きさと記載されています。巻末にはいろいろな要望、希望のページを示し、参照しながら学習することができるように工夫されています。

最後に、4総括です。「何が同じで何が違う」や「吹く楽器の仲間たち」などのコーナーを掲載し、自分で調べたり、その内容を話し合ったりしながら主体的に学習できるように工夫されています。

次に、教育芸術社、1内容(1)の観点、6ページをご覧ください。生徒たちになじみのある楽器から紹介されており、楽器ごとに難易度が低いものから掲載され、段階を追って発展的に学習できるように工夫されています。8ページをご覧ください。音楽(一般)でも同様でしたが、中学校の器楽で学ぶ学習内容に各教材が3つの観点のうちどのように関わっているのか、生徒自身で確認ができるように記されています。各楽器の学習について共通事項を掲載し、ねらいの到達のために必要な要素を生徒たちが意識しながら学習できるように工夫しています。80ページに、それぞれの学習活動を通して学んだ吹く楽器の基礎的な学習を発展させ学びの定着を図る題目に「アンサンブルセミナー」という合奏曲が掲載されています。ここでは「千の風になって」の楽譜が掲載されています。演奏する楽器が指定されていないので、楽器を変更するために生まれる鳴り響く音楽を感じながらアンサンブルの工夫ができるようになっています。生徒たちはこんな雰囲気にしていきたいなというイメージを持ちながら工夫して演奏し、さらによくしていくための改善を繰り返していきながら学習を深めることができるように配慮されています。

(2)の観点ですが、55ページに、学びの観点を意識しながら生徒たちの主体的な学びを進め

るため、「学びのコンパス」というコーナーが制定されています。このコーナーでは、キャラクターの吹き出しがその曲の特徴について説明しており、生徒たちの思考判断につながる助言が掲載されています。また、注目するポイントでは、表記した共通事項を意識させながら、よりよく表現するための具体的な手だてを示しています。71ページ以降に「アンサンブル」のコーナーを掲載し、様々なジャンルの曲を取り上げ、生徒の興味関心を高めることができるように工夫されています。生徒たちが聴いたことがあると思われる曲が掲載されており、演奏したいと思わせるような曲が多い印象ですが、楽しくアンサンブルをするだけでなく、各曲のねらいを曲ごとに示し、生徒たちはポイントを意識し、協働しながら音楽的に膨らみのある演奏ができるように配慮されています。

(3)の観点ですが、68ページに、生徒たちの学習意欲を喚起するために、「バンドの世界に触れてみよう」のページや、「楽器でメロディー」というコーナーで生徒たちになじみのある楽曲を掲載しています。ここでは生徒たちが聞いたことのある「小さな恋のうた」という曲のバンドスコアが形成されています。ギターのと音、ベースは低音、ドラムはリズムと様々な楽器が役割を持っており、器楽の教科書で学習している合奏曲と同じ要素で曲が成り立っていることに気づくことができるようになっています。96ページ「楽器でメロディー」では、日常生活で聴き覚えのある曲が多く掲載されています。箏で演奏する「少年時代」や「夏祭り」、篠笛で演奏する「もののけ姫」等、これらの曲の学習を通して各楽器で学んだ基礎的な内容を発展することができるように工夫されています。

(4)の観点ですが、各教材には学習課題や学習内容に即した音楽を形づくっている要素が示されていて、生徒たちが主体的に学習できるように配慮されているのと同時に、創作活動と関連づけて学習できる内容も用意されています。また、それぞれの教材は平易な曲から学習できるように配慮されており、無理せずに基礎的な技術を習得できるように工夫されています。

(5)の観点ですが、巻頭4、5ページの「音楽って何だろう？」のコーナーでは、様々な民族音楽の楽器を紹介しています。その中に音楽批評家の小沼純一氏のメッセージも掲載し、世界の中の日本音楽という意識を持てる工夫がされているのと同時に、音楽に対する演奏家の思いを捉え、器楽の学習について興味が高まるように配慮されています。

2資料(1)の観点では、各楽器の学習の最初に二次元コードが掲載されており、動画や音声などの情報を視聴、閲覧できるように工夫されています。

(2)の観点では、リコーダーの学習がQ&A形式で学習のポイントが掲載されており、生徒たちが自身の学習の課題点を自己解決できるようになっています。

3表記・表現についてです。教科書の楽曲で音譜や記号、歌詞が適切な大きさと記載されています。特に和楽器では和楽器特有の記譜法を記載するなど、様々な指導実態に対応できるように工夫されています。

最後に、4総括ですが、教科書の多くの部分に資料のコーナーが掲載されており、その中では、日本の音楽だけではなく各国の民族音楽で使われている楽器の紹介がされていたり、バンドのスコアが掲載されたりしており、日常生活と音楽で学習した内容の関連を感じながら学習できるように工夫されています。

以上で器楽の教科書についての説明を終了させていただきます。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

東委員。

東委員 選定委員としてどの教科書を推薦されますか教えてください。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場においていらっしゃった皆様の提出した意見などを参考にしながら協議を行いました。協議終了後、選定委員13名が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果では、17番、教育出版47点、27番、教育芸術社63点。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、63点の教育芸術社、47点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会が出た話題はどのようなものがありますでしょうか。

伊東選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、楽器の演奏に苦手意識を持っている生徒もいると思うので、無理なく取り組める工夫があるとよいということ、2点目は、和楽器に触れる機会が各学校であり、越谷市では箏を扱っている学校が多いことということが出ました。

吉田教育長 箏を扱っているところが多いというのは、全校ということでのいいのですか。

伊東選定委員 全校です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 学校の調査報告書では、どの教科書の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

伊東選定委員 学校からの推薦では、教育芸術社を推薦する学校が最も多く14票、続いて教育出版が4票という結果でした。

推薦理由といたしましては、教育芸術社では、学習の過程が分かりやすく示されており、発展教材も充実しているため、生徒の実態に合わせやすい。無理のない楽曲の選曲であり、取り組み

やすい楽曲を扱っている。生徒が自主的に表現を工夫できる内容構成となっている。

教育出版では、リコーダーと箏曲の譜面が多く、様々なジャンルの曲に触れられてよい、いろいろな打楽器の特徴が分かる、解説が専門的でより深く学ばせることができる、等の意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会でも話題に出たようなのですけれども、楽器の演奏には得意、不得意があるかと思いますが、苦手な生徒でも取り組みやすいような工夫というのはございますでしょうか。

伊東選定委員 あります。どちらの教科書も楽器の各部の名称を確認することから始め、その後は演奏姿勢や単音を出すことなど基礎的なことをしっかりと学び、そこから曲にチャレンジするように系統的に教材が配置されています。また、つまずいたときには各自で教科書を手だてとして学習を戻すことができるように配慮されています。系統性が分かりやすい配慮としては、アルトリコーダーの学習のページが挙げられます。教育出版の11ページ、教育芸術社の14ページのどちらも、まず単音から音を出す練習をしていますが、新しく学習する楽器であるアルトリコーダーと既習楽器であるソプラノリコーダーの運指が同時に書かれています。ソプラノリコーダーで習得した運指を生かしながら新しい楽器の運指を学習できるように工夫されています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員会には、1号委員として保護者がいらっしゃいますけれども、どのような意見が出たのでしょうか、教えてください。

原田選定委員長 和楽器など多くの楽器が載っていますが、学校でどれだけ扱っているのかということ、また音楽（一般）と音楽（器楽）の教科用図書は同一のほうがよいのかという質問がありました。越谷市では先ほど話があったように箏を扱っているということ、また教科書出版社については、音楽（一般）と音楽（器楽）では同じ会社のものを使用していることが多いというのが部会長からの回答でありました。多いというのは恐らく他市のことも言っているのかと思います。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 例えば箏とリコーダーは授業でも扱うということなのですか、ここには太鼓、ギター、三味線もあるので、このようなものは扱わないということですか。

伊東選定委員 様々な楽器を取り上げて学習しています。学校によって取り上げている楽器は変わ

ってくるのですけれども、ギターを学習する、太鼓を練習する、学習する学校もありますし、また教科書に載っていないものではバイオリンをレンタルして学習しているといった学校もございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等はございますか。

足立委員。

足立委員 どちらの会社もリコーダーの部分で、最初に姿勢や構え方、運指のことを説明して、次に「1つの音で吹いてみよう」や「左手で吹こう」、「両手にしよう」と段階的に進んでいるのがよく分かりました。教育芸術社がより事細かに最初の説明をしているという印象を受けました。取り扱っている楽曲についてですけれども、先ほど選定委員がおっしゃっていましたが、クラシカルなものだけでなくジブリやディズニーのものを取り入れていて、生徒が演奏していて聴いたことがある、知っている曲を演奏できるのは各社ともそうですが、それはいいなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 音楽の器楽は、学校ならではで、みんなで合奏するというのが協働的な学びと言ってもいいと思うのですけれども、かなり貴重な機会だと思います。アンサンブルをすれば上手な人は、そこまで上手ではない人に合わせてゆっくり演奏したりそういうことで、ある種の協調性を学べると思います。そういう面では、教育芸術社の「学びのコンパス」は、どこも漫画での会話をしている形なのですけれども、アンサンブルをする上での考え方も導きになっていて、非常にいいのかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほど説明の中にもありましたけれども、教育芸術社につきましては、例えば生徒の実態に合わせやすい、無理のない楽曲の選曲、取り組みやすい楽曲を扱われているということで、生徒が主体的に表現を工夫できる内容構成になっている、使っている現場の先生方の実感なのかなと思いました。また、箏につきましては、越谷市全校で扱っているということですから、能楽堂があるなど越谷市もずっと力を入れてきたところですから、教育芸術社もページを割いて取り組んでいるなと思いました。

吉田教育長 私からですけれども、内容の構成については、2社とも大きな違いはないと思ってい

ます。けれども、思考力、判断力、表現力の育成という面で、教育芸術社では、音楽（一般）と同様、9ページの左に記載されていますけれども、音楽や音の要素としてリズム、旋律、ハーモニー、音色、それから強弱、速度、これらを取り上げて、音楽を働きの視点で捉えてイメージや感情、あるいは伝統や文化等と関連づけることを通して音楽的な見方、考え方、これを深めていく工夫がされていると思います。

同じ教育芸術社ですけれども、音楽の多様性を理解する一環として和楽器について構造、奏法、さらには創作などについて34から62ページにわたってかなり詳細に取り上げています。特に野口委員からもございましたけれども、本市では伝統文化等について、全校で茶道、華道、箏曲、音楽に関する事、箏曲は部活動としても取り組んでいるわけですけれども、先ほど確認をしたところですが、箏については全中学校で扱っていますが、34から43ページを見ていただくと分かりますように、そこで取り上げています。なおかつ、43ページでは箏を使った創作活動、これが用意されているところに教育芸術社としては特色があると思っています。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 教育出版ですけれども、例えば31ページの「発展」、「吹く楽器の仲間たち」、「弾く楽器の仲間たち」など様々な国の楽器を載せるということは、音楽の授業でなければ恐らく子どもたちが見ることができないと思うので、いずれ世界で活躍するような子どもたちなので、こういうものを見ておくというのは、とてもいいことだと思いました。

一方、教育芸術社の70ページ、日本の楽器、和の楽器とあとは世界の楽器、その他の楽器のアンサンブルというのがとてもおもしろいと思いました。尺八とマリimba、箏とオーケストラなど、こういうこともできるということ子どもたちが分かって、とてもいいのではないかと思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 それでは次に、観点の2から4についてまとめてお願いします。

調査の観点2から4についてご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより音楽（器楽）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、山口委員、渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価の合計を読み上げます。

17番 教育出版 24点

27番 教育芸術社 30点

以上のとおり、音楽（器楽合奏）の教科用図書は、27番、教育芸術社を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 ここで暫時休憩といたします。

再開は15時35分といたします。

休憩 午後 3時25分

再開 午後 3時35分

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

理科の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

石山選定委員 それでは、各社とも各校の研究員の研究に基づいた大づかみな印象を述べて、特徴的な部分につきましては1年生の教科書の該当ページを挙げながらご説明いたします。

はじめに、東京書籍です。全体として情報量が多く、実験の流れなども整理されたバランスの

取れた教科書という印象です。

実験・観察では、1年生の巻頭の3ページ、「探究の流れを確認しよう」で学習の流れが示され、4ページでは考察やレポート、議論の仕方などがまとめられています。80ページの実験に臨むところでは、クエスチョンマークで課題が提起されて、これに呼応する形で83ページ、エクスクラメーションマークで課題に対する自分自身の考え方を促しています。その下の「学びを生かして考えよう」というコラムでは、まとめの内容を生かした課題設定をするということで、思考力や表現力を育成する取組が見られます。さらに、250ページでは、クエスチョンマークに対する「自分の考えをまとめよう」の例として、エクスクラメーションマークの答えとなるような文例まで丁寧に示されています。

他教科で学習する理科と関係の深い内容につきましては、62ページのように、関連するものを「〇〇で学ぶこと」として分かりやすく示されています。90ページ及び99、100ページでは、子どもたちの日常生活と他分野との関連では、様々なコラムが掲載され、生徒の興味関心をかき立てるとともに、理科を学ぶ意義、有用性を実感できる工夫がごさいます。

次に、大日本図書です。生徒の関心や意欲、主体的な学習姿勢を引き出そうという工夫が見られること、またこの内容を使いこなしていくためには教師の指導にも一工夫が必要になるという印象を持ちました。

まず、生徒に学習の見通しを持たせる点では、4、5ページに「理科の学習の進め方」、268、269ページに「探究の進め方」が掲載されている工夫があります。ただ、これらが離れて配置されているという点は、実際の指導上では少し注意が必要かなと感じました。

実験・観察では、115、116ページのように、課題は東京書籍と同じようにクエスチョンマークで分かりやすく記されています。ただ、まとめは一見して分かる見出し等がありません。つまり、課題に対するまとめにつきましては、内容をよく読み解いていく、本文をよく読んでいくという必要がある点が特徴的です。また、これは小学校の理科教科書とかなり異なる点でもあります。

続いて、23ページ「問題を見つけよう」、あるいは36ページ「やってみよう」など主体的に学習を引き出すような工夫が見られます。また、71ページ、135ページにあるような、同じようなコラムで「つながる×SciencePress」と題したコラムでは、学習内容と他教科や生徒の日常生活がリンクされる内容が示され、生徒の興味や関心を引き出す工夫がなされています。

最後に、単元末のまとめの内容につきましては、130、131ページではまとめの内容がチェックリスト化されています。理解度を視覚化しやすいという点が特徴かと考えました。

次に、学校図書です。実験・観察の記述を中心に探究に特化した教科書という印象を受けました。巻頭の2ページ、「なぜ理科を学ぶの」、4から6ページにかけての「理路整然」で、理科を学ぶ意義、探究を中心にした気づき、課題設定から考察までの進め方が示されています。実際にこの探求の一連の過程が本文内容の各実験のページでも共通のラインと矢印で示されています。

特に探究に特化した工夫と考えました。

6ページ「どうするレポート」は、こちらも非常に実践的な内容になっています。45ページ、各単元のはじめには「Can - Do List」があります。その単元で何ができるようになるのか、学習の見通しを立てやすくしています。51ページ、実際の実験内容ですが、実験方法は文章と画像で示されています。方法、結果、考察のポイントは強調され、先ほど述べたとおり探究の過程をラインや矢印で分かりやすくする工夫がございます。54ページ、結果や考察は、文章とともに図や表も使っています。同ページ下の「探究を極める」で、考察した内容からさらに思考力や表現力の育成につなげる工夫が見られます。考察のところにも巻頭で見られた「理路整然」のコラム欄があり、生徒の思考を促す仕組みがございます。

表記・表現では、全体的にユニバーサルデザインの視点を取り入れており、フォントや画像以外のページの色使い、レイアウトなどにも配慮が見られ、印象としても見やすさを感じます。

次に、教育出版です。本文の字のフォントが大きく、課題や結論が特に目立つように工夫をされているなど、小学校からの移行への配慮が印象的です。

巻頭の「探究の進め方」で疑問、課題設定から考察・結論までの流れが示され、続いて「探究の進め方」で具体例が示されています。加えて、巻頭にレポートの書き方も示され、探求の方法を把握させようとする工夫が見られます。各実験では、77ページのように、その実験で初めて使う器具の取扱いが示されています。実験の流れは見出しに矢印で示され、実験する、考察する、結論を示す、を同じタイプの見出しとして目に留まりやすくしています。80ページでは、レポート例を示している点も、科学の考え方や思考力、表現力育成の工夫と考えられます。82ページ「やってみよう」、89ページ「活用しよう」、さらに111ページ「チャレンジ」といった内容で、探求的な課題が示され、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を引き出そうとする工夫が見られます。

表記・表現で特徴は、他社と比較して本文のフォントのサイズが大きく、字の配置に非常に余裕があるということです。小学校からの移行に無理がないように配慮されていると言えます。一方で、本文以外の箇所、フォント等のサイズや配置に少し隔たりがありますので、そこが少し引っかかる感じを受ける、そういう印象がございます。

最後に、啓林館です。他社にはない探究実験といった内容や計算の詳しい解説など、こだわりやアカデミックさを感じさせる印象を受けます。

巻頭のページは、教科書の使い方として学習の流れやアイコン等の細かな解説がなされています。続くページは、ICTの活用として、実験・観察における探究のためのICTの活用が独立して示されています。QRコードなどは各社、力を入れているところですが、このような形でICTの活用が独立しているのは啓林館だけになります。

次に、実験・観察のうち、特に探究的な内容につきましては139ページをご覧ください。「探Q実験」、「キュー」はアルファベットの「Q」になっています。巻末につけられた「探Qシート」を

利用して主体的な学習姿勢を引き出し、思考力や表現力をつける特徴的な取組になっています。キャラクターの発言も、理科の見方、考え方を踏まえたものになっています。ただし、このページは情報量がやや多く、内容を一目では把握しづらい点、そして教師が授業の中で「探Qシート」を実際にどのように活用するかというところは工夫が必要かなと思いました。

また、実験前にクエスチョンマークで示された課題に対するまとめは本文に含まれています。したがって、本文をよく読み込んでいく必要がございます。その他、例えば146ページあるいは166ページに計算場面などを詳しく取り扱っており、直下に練習問題も載せています。3年生の内容では計算の解説まで載せているところもあります。独特のアカデミックさを感じさせる場所です。

説明につきましては以上です。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員としてはどの教科書を推薦しますか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。1票が無効票であったため、60点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍40点、4番、大日本図書27点、11番、学校図書58点、17番、教育出版35点、61番、啓林館39点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、58点の学校図書、40点の東京書籍、39点の啓林館を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか。

石山選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、理科はSDGsとの関連が深い教科であるということで、各教科書でどのように扱っているかということ。

2点目は、実験の際の事故防止などの安全面について指導するための工夫が見られるかということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか。

また、その主な理由についても教えてください。

石山選定委員 学校からの推薦では学校図書を推薦する学校が最も多く11票、次いで東京書籍、啓林館が3票、教育出版が2票という結果でした。

推薦理由としましては、学校図書では課題から結論までの一連の流れが分かりやすく示されている、授業の中で働かせる見方、考え方が記載されている。

東京書籍では、情報量が多く生徒の興味を引き立てるような工夫がある、実験の流れが分かりやすい。

啓林館では、図やイラスト、QRコンテンツが豊富であり視覚的に分かりやすい。

最後に、教育出版では、実験の手順や用語などがコンパクトにまとまっており、生徒の思考活動をさせやすい等の意見がございました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 理科では、実験や観察をすることが多いかと思います。道具や薬品などの取扱い方、また実験の仕方などの技能を身につけることも大切だと思いますが、どのような工夫がありますか。

石山選定委員 まず、実験や観察で危険を伴うなどの注意の必要な内容につきましては、各社とも赤い字あるいはアイコン等を使って注意を促したり、あるいは地の色を黄色系にしたりするなどし、目立たせる工夫がなされています。例えば東京書籍の95ページでは、アイコンと赤い字を用いて注意点が示されています。同じような注意点が、例えば学校図書の79ページ、黄緑系の地に赤い字で注意点が示されています。各社ともそういった工夫がなされています。

次に、道具の扱い方あるいは実験器具についてですが、多くの場合、その実験ごとに示されています。例えば啓林館126ページは、その章のはじめにまとめて載せている、そういう工夫のあるもの、あるいは先ほどと同じですが、学校図書の204ページでは巻末資料としてひとまとめに示されて、実際の実験のページには欄外に参照が示されるという形でまとめてある会社もございます。いずれも一長一短がありまして、教科書を実際に使う生徒の学習の流れ、教師の指導の流れから考えて、一概にどらちがよいと言い切れるものでもないかなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 選定委員会には、1号委員で保護者がいらっしゃると思いますが、保護者の方からは、どのような意見がありましたでしょうか。

原田選定委員長 実験や体験学習があるというのが理科の特徴だと思うのだが、欠席などでそれができなかった場合にも映像などの資料があるといいですねというような意見をいただきました。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員。

東委員 映像の資料がQRコードで大体読めるようですが、これはどの教科書会社も大体実験は載っていたと言ってよいでしょうか。

石山選定委員 全てをチェックしたわけではないのですが、その教科書会社も全部実験が載っているわけではないようです。その辺はQRコードでカバーができるような各社とも工夫はあるところかと思います。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等はございますか。

足立委員。

足立委員 まず、各会社とも表紙の部分でいかにも見るからに科学、理科といったような写真を使用していて、興味をそそられる教科書だなと思いました。内容といたしましては、どの教科書も各単元の流れはそんな大きな違いはないのかと思いますが、学校図書の一貫したレイアウト、方法から入って経過、考察を経て、ページをめくったところで結果を考察するというレイアウトは一貫していて、授業を進めていく上で生徒たちの思考もそのように形成されていて分かりやすいなと思いました。

先ほど選定委員も実験の際の事故防止、安全面などについておっしゃっていましたが、東京書籍や大日本図書のように教科書の最初のほうに理科室の決まりというように気をつけなければいけないことをもう既に出していて、特に東京書籍の理科室の決まりはイラストで提示されていて、何かあったときの際などのことも載っていて、分かりやすいなと思いました。

また、内容として理科はSDGsとの関連が深い教科であるため、各教科書も理科等を使ってSDGsについて扱っているかと思いますが、一番分かりやすいと思ったのが学校図書のSDGsの取扱い方で、見開きの単元のところでSDGsのどの項目と関連があるのかというのをイラストで掲載していて、分かりやすいなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 先ほど選定委員さんからもご説明があったのですがけれども、やはり理科というのは探究学習なので、課題発見、仮説を立て、そして計画、実験、結果、考察という流れはどの教科書も通っていたと思うのですがけれども、例えば東京書籍は巻頭の3ページに、大きく書かれていて分

かりやすいと思いました。学校図書の4、5ページは、見開きで書かれていてとても分かりやすいと感じました。啓林館は271ページに「探究の流れ」と「探究の振り返り」があって、教員側としては少し使いづらいというような話があったと思います。そして、教育出版は、「探究の進め方」が折り込み式になっておりまして、これは広げて使いますとどの実験のときにもこれが見られるという特徴があって、とてもいいなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 探究活動につきましては、各社とも工夫されていると思いましたが、それによって学習の流れも工夫されていると思いました。また、まとめの問題もかなり充実させてきていて、知識の定着化ということも最近では力を入れているというのがよく分かりました。また実験器具の基本操作についても、途中に入れる会社と、それから巻末にまとめの資料として入れる会社とはっきりしていますけれども、どちらがいいということは、先ほど選定委員からもありましたように、どちらとは言えないとは思いますが、ただその中で学校図書は、この気づき、課題、仮説、計画、方法、それから結果、考察、さらに足立委員からもありましたように、その後に結果、考察ということで、この流れがこの帯でずっと表現されているという特徴があると思いました。これはきっと現場の先生方はこのほうが使いやすいのだろうなと、だから支持を集めているのかなと思いました。それに伴って、基本操作的な、例えばガスバーナーの使い方については巻末に入れたほうがきっと構成上分かりやすいという判断で、この会社はやっているのだなということも分かりました。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 理科は学ぶことが多くて、非常に中身も多過ぎてどれが大事なのだから分かりづらいと思うところがあるのですが、学校図書と教育出版は、先ほど選定委員がおっしゃったように、大事なところは文字を大きくして、そこがきちんとストーリーになってつながっているので、特に学んでほしいところが分かりやすくなっていて、その辺りは評価していいと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 私も説明をお聞きしながらQRコードを開いてみたりしたのです。どこまで使えるのかと思ったのですが、例えば東京書籍の紹介いただいた他教科との関係に入っていくと、多分東京書籍だと思うのですが、教科書が出てくるのです。同じ会社の他教科の教科書を使わないとリンクしないようなことが起きてしまうのかなと思って、そうなると思えないなと思ってしまったのが一つあります。

QRコードだけを見ると、学校図書がほぼ全ページにQRコードがついていて、まだ完全公開ではないと出てきてしまうので、分からないところなのですが、これは先生方が使いこなしたらすご

いな、幅が出るなという可能性は感じました。ただ、その一方で、私も大学で教えていたりするのをごく感じてしまうのですが、動画がいっぱい入っているのですけれども、学校のWi-Fi環境の心配はあって、少なくともこの会議室ではダウンロードするまでに少し時間がかかるのです。今の小中学校のWi-Fi環境が、このQRコードを読んで教材として活用するものに対応できているかどうかによって大分QRコードの活用は変わってしまうなと思っているのです。もし施設上の通信が分かれば教えていただければと思います。

吉田教育長 QRコード、ICTの環境について、教育センター所長。

菊池教育センター所長 コロナ禍になって学習者用のデジタル教科書、様々なテストのCBT化を踏まえて、越谷市の2万6,000人以上の子どもが同時に何かを検索したり動画を見たりしても耐えられるようなSINET接続をしていますので、ただいまの心配は一切要らない環境となっています。

東委員 感心いたしました。

吉田教育長 おっしゃるように二次元コードの数については、学校図書が一番多くなっているということは確かですよ。

他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 私も思ったのですが、学びを生活に生かす視点というので少し見たのですけれども、学習指導要領には科学的な現象と人間生活の関わりについて認識を深めることを願い、このようにしているわけですが、学校図書では化学変化から天気に至るまでの各編の終わりにある「学びを日常に生かしたら」で取り上げていくというところがあるかと思うのです。ちなみに小学校の子どももそうなのですけれども、電気が結構苦手なので、電気はどうやって扱っているのかと思って見たのですが、学校図書の2年生147ページ中ほどの右側で、2つに並んでいるほうの右側ですけれども、その下の眼鏡かけた人が左手を挙げて説明しています。並列つなぎにすると電流の流れ、道筋が増えて流れやすくなり、合成抵抗、これは一つ一つの抵抗よりも小さくなります。数式に当てはめて出しているのです。頭の中で考えると非常に混乱してくるのだけれども、理科的に物を考えるというのはこういうことなのかなと思っていて、例えばどういうふうな生活の中で取り入れているのだというのを見ていくのですが、2の154ページの下、アンペアブレーカーというのがあって、家庭での有機配線などは、並列につないでいくと抵抗はだんだん流れが幾つにもできるから電流が大きく流れ、抵抗は1つずつ小さくなっていくという仕組みを使っているわけです。電流が多く流れたら契約で切られてしまいますから、昔はヒューズが飛ぶと言っていたのだけれども、今はブレーカーがスイッチで切れるのですよね。こういうような仕組みがあって、日常生活の中で考えていくと割とすんなり入るのかなという気がして、こういうことが大事なのかなと思っているのです。これを取り上げているのはおもしろいなと思いました。

学校図書では選定委員の説明で、探究に工夫しているという話がありました。2学年、これは

1 学年でも同じですけれども、4、5 ページにこの一連の流れ、気づきから始まって考察、それから振り返り、10の次の気づきまでの実験や観察を含めた探究の過程の中で、決まりや関係性に着目して科学的な物の見方、考え方、これを働かせて学びを高めていく工夫が、これはできていると思うのです。具体的に言うと、学校図書では探究活動については、探究とは気づきと振り返りのサンドイッチだと言っているのです。小学校でも同じようなことをやっているのです。観察を見ていると、最初は水、植物に、では土だ、栄養だ、では次と、次々と探究をつなげているというのがあって、非常に似ていると思いました。化学変化では、14から60ページに8つの探究活動それぞれ連番をつけて用意しています。それから、動植物の率いる仕組み、これも68から121ページ、これは7つ、電球とその働きでは133から181ページ、これは8つの活動、それぞれ連番をつけて探究活動として実験、観察、考察を交互に位置づけて繰り返していきます。こういったところで探究に工夫していると捉えていいのでしょうか。

また、学校図書の1年生の10、11ページ、48、49ページにあるように、身近なこと、素朴な疑問から気づきを課題設定やその探究活動につなげて、学習者が自分で進める観察実験を通して、これは機能的推論とっていいのかと思うのですが、これを導き出しています。加えて、2年生の45ページでは、加熱したときの化学変化の前後の物質の質量との関係を化学式から導き出しています。酸化銅の化学式、 CuO から導き出すといった、これは機能的ではなくて演繹的な推論です。これを組み合わせて全体として課題解決能力、科学的な見方と考え方を高めるように工夫しています。このように組み合わせてやっていくことが非常におもしろいと思いました。

3年生の174ページと185ページに越谷隕石が載っています。185ページの太陽の動き、これはリユース付近です。こういう観察は実際に見なければ駄目ですよね。見るのが大事なのだと思うので、これ身近なところを挙げてもらっているというのは、子どもたちにとってはより学習の手助けになるのかなと思いました。

以上のことから、課題からの流れが分かりやすい、あるいは授業の中で生かせる見方、考え方が示されている、あるいは実生活に生かすことを意識したものが増えたというようなコメントが学校調査の報告書に上がってきていると思いました。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 次に、調査の観点の2から4については、まとめてお願いをいたします。

調査の観点の2から4についてご意見等ございましたらお願いをいたします。

渡辺委員。

渡辺委員 表記について、どの教科書も各章ごとに最後には学習のまとめや重要用語のまとめが載っているのですが、例えば1年生、学校図書の197ページではこのような形でまとめてあり、チェックの四角も入っていて、大方、啓林館も同じような形で学習のまとめがあります。1年生、

教育出版の256ページに、重要用語は赤で書き、その前にチェックリストがあり、理科というのは用語を覚えることも大切なことだと思いますので、テスト前に覚えるときに、赤のシートを載せて覚えるのでしょけれども、そういうところが分かりやすくできているなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ほかの観点で協議したい内容はございますでしょうか。こちらもよろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより理科の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、東委員、それから野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	24点
4番	大日本図書	20点
11番	学校図書	29点
17番	教育出版	22点
31番	新興出版社啓林館	21点

以上のとおり理科の教科用図書は、11番、学校図書を採択することに決しました。

次に、保健体育の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

生方選定委員 それでは、説明させていただきます。

はじめに、東京書籍です。14ページをご覧ください。4総括にも記載しましたが、1見開き1時間構成となっており、上から「見つける」、「学習課題」、「キーワード」、「本文・資料」、15ページ右下、「活用する」、「広げる」と展開され、生徒が主体的に考えられるような授業の流れ、紙面構成になっています。また、動画や思考ツールを補完するデジタルコンテンツが、1時間の最後の右下ページである、15ページ一番右の下に掲載され、アクセスしやすい工夫がされています。

25ページには、1内容（4）に記載しましたが、「章末資料」、「巻末スキルブック」に豊富な資料が掲載されています。紙面を補完するデジタルコンテンツが右上のQRコード「睡眠と発育」にあります。

〔動画視聴〕

生方選定委員 章末資料に記載されていない部分がこの動画で流れる工夫にもなっています。13ページに、章とびらの各分野に関連する職業の人の話が記載されています。生徒が将来的に運動やスポーツに目を向けることができるような工夫になっています。画面をスクロールしていただくと、教科書に載っていない、いろいろな角度からの情報が、QRコードからアクセスしていただくと出ています。情報量が豊富になっています。

続いて、大日本図書です。16ページをご覧ください。4総括にも記載しましたが、大日本図書の大きな特徴といたしまして、1時間の授業を左ページが本文、右ページが資料となっていて、本文と資料などが点在せずに学習内容を整理しながら学習を進めることができるようになっています。

26ページには、1内容（4）に記載しましたが、この章末資料で、例えば2の10分当たりの消費されるエネルギーの出典が国立健康栄養研究所、3の主な食品のエネルギーの出典が文部科学省といったように出典の明らかな資料が掲載されていて、28ページには知識の定着がしやすいように、この「学習のまとめ」において重要な言葉として掲載されています。さらに、右下のまとめ問題があります。ここのQRコードを読み取っていただくと、何ページから何ページのまとめ問題となっており、まとめて生徒ができるような工夫がされています。

さらに、教科書口絵5は資料になっているのですが、プロとかアマ、特に中学生の掲載が大日本図書は豊富で、活躍している写真が多く掲載されていて、運動やスポーツの意義や多様性について理解するために工夫がされています。

続いて、大修館書店です。4総括に記載しましたが、24ページ「休養と睡眠」で、1疲労がたまると健康を損なう、この下の小見出しとして、「疲労とその表れ」、「疲労がもたらす健康問題」、

25ページ「調和の取れた生活が健康を保つ」が出ています。1時間の授業での内容区分が細かくまとめられていて、学習の要点や重要な概念を見出しに示していて、見出しを読めば要点をつかめるといった工夫になっています。25ページですけれども、デジタルコンテンツが豊富で、右下に2つございます。「学習のまとめ」で、AさんとBさんに適切なアドバイスをしようということが書いてあって、ここを読み込むとその資料で、生徒が、越谷市で言うロイロノートに落として、直接アドバイスを書き込めるような工夫がされています。

また、「保体クイズにトライ」というクイズ形式になっていまして、進めていただいて1番が問題になっています。2番で答え、間違っている場合もう一度教科書を確認して、戻らなくても次に進めるような工夫にもなっていて、生徒がクイズ形式になっていることで主体的な学習で深い学びにつながる工夫がされています。

続いて、学研です。28ページをご覧ください。3表記・表現(1)に記載しましたが、紙面が大きな判版を使用していて、視覚的にゆったりとしていて読みやすい工夫がされています。

また、1内容(1)に記載しましたが、28ページの上「学習の課題」に、【わかる】と【考える】の必ずこの2項目を設けて、身につける知識、技能、考えたり話し合ったりすることを確認し、学習の見通しを持たせる工夫がされています。

また、29ページの右上には、3表記・表現(1)に記載しましたが、なじみやすいキャラクターが随所に出てきて、問いを投げかけたり要点についてまとめたりするなどして、学びを深める手助けをしています。右下には、この章単元の最後に「章デジ」で、何年生でどの分野を勉強してというように、第1章は外部のリンクやワークシートがあるなど、いろいろなコンテンツとなっています。後で章を振り返ったときに、自分で教材を選び組み合わせながら足りない部分を補うような工夫がされています。スクロールしていただいて、124ページとリンクしているのですが、心肺蘇生法の実習の動画です。応急処置は1個の流れになっているのですが、心肺蘇生法、胸骨圧迫、AEDと一連の流れでやるのですが、細かく心肺蘇生の動画、やり方が2分ぐらい流れまして、その後、胸骨、それからAEDと、実技においてデジタル動画の工夫がされています。

〔動画視聴〕

生方選定委員 最後に、どの教科書も、章とびらにおいて章で学ぶねらいや学習内容が示され、小中高の継続性が明記されています。以上です。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。ございますか。

山口委員。

山口委員 選定委員としてどの教科書を推薦するのですか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書

展示会会場において来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍37点、4番、大日本図書41点、50番、大修館書店54点、224番、学研61点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、61点の学研、54点の大修館書店、41点の大日本図書を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、選定委員会ではどのようなことが話題になったのかお話しいただきたいと思います。

生方選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、本市の推進するがん教育についての取扱いについてどのような工夫が見られるかということ。

2点目は、悩みやストレスなど心の健康について、各社で対処方法や相談窓口の掲載などが見られる、ということが出ました。

吉田教育長 がん教育についてはどんな工夫が見られるのですか。

生方選定委員 各社とも取扱いを2年生のがんの予防というところで、ほかの生活習慣病の中で1時間の取扱いで扱っています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 学校の調査報告書はどの教科書会社の推薦が多かったのか、また、その理由も含めて教えていただければと思います。

生方選定委員 学校からの推薦では、学研を推薦する学校が最も多く14票、次いで大修館が5票、大日本図書が1票という結果でした。

推薦理由としましては、学研では、内容が見やすく、課題解決型の学習が容易である。生徒自身が既習事項の復習をする際に理解しやすい構成となっている。

大修館書店では、内容が細かく丁寧で章のまとめが充実している。使いやすい書き込み型のワークがある。

大日本図書では、日常に起こりやすい怪我の手当てが適切で分かりやすい等の意見がございました。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 体育分野と保健分野やほかの教科との関連について、各社はどのように扱っていますでしょうか。

生方選定委員 東京書籍は、18ページ資料の右の下にリンクマークがあります。理科2年、消化と吸収、家庭科、リンクがこの教科書は117ページ、運動やスポーツと食事運動と関連しているということが示されています。

大日本図書は、150ページの下にリンクマークで体育編、保健編、他教科とのつながりということで理科1年、気象観測の理科2年と示されています。

大修館書店は、102、103ページをご覧ください。102ページの左に関連で70ページ、運動やスポーツの安全な行い方、それから103ページの右に「体育の窓」ということで、このゴールの転倒事故を防ぐということで具体的な分野との連携が図られています。

学研は、30ページの右の資料に1関連という形で、この教科書の何ページとつながっているということと、スポーツが心身と社会性に及ぼす効果、運動とのつながり、90ページの右の2「人間の体の細胞は日々分裂されて新しくなる」に関連して、理科の3年生と生命の連続性がここでつながっています。それぞれ各社が扱っています。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会には、1号委員として保護者の方がいらっしゃいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

原田選定委員長 自分のことを大切にす教科であるという印象を受けたので、道徳科と関連づけるところがあるとより自他を大切にすることができるようになるのではないかと、というようなご意見がありました。

吉田教育長 道徳科との関連というのはあるのですか。

生方選定委員 リンクマークで「道徳」との関連がわかる形で示され、教科書のページとつながっている、関連があるということで出ています。

吉田教育長 どの会社にもあるのですか。

生方選定委員 全部の会社に道徳の関連マークが、全ては見えていないのですけれども、例えば東京書籍は、161ページ中段にリンクマークで「道徳」という形で示されています。

吉田教育長 心の部分については道徳との関連が深いから、ほぼそういう関連の事項が取り上げられているということで考えていいのでしょうか。

生方選定委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1、内容についてご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 学びの筋道についてですけれども、東京書籍94ページ、大日本図書74ページ、学研90ページ、大修館書店84ページ、がんのところで比べてみました。

まず、先ほどご説明があったように、東京書籍は見開きで完結しているのですけれども、「見つける」から「学習課題」が明確になっていまして、「課題の解決」でがんという疾病について、もう一つ、がんの要因と予防ではがんの早期発見と回復について、「活用をする」、「広げる」と非常に分かりやすく記述がされていると感じました。

大日本図書も、左側に文章が簡潔にまとまっております、右側は資料という形で、子どもたちにはとても分かりやすいと感じました。

大修館書店は、小見出しが非常に分かりやすいと思ったのですけれども、例えば84ページの「がんは身近な病気である」と要約な見出しで、2番目に「適切な生活習慣はがんのリスクを減らす」というように、書いてある内容を小見出しに使っているところが分かりやすくてよいと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 心肺甦生法で4社を比べてみたのですけれども、まず学研124ページ、大修館101ページで、他の2社にはなかったのですが、それぞれフローチャートもあって、中学生でも実際には何かあれば先生がリーダーシップを取ると思うのですけれども、流れをしっかりと把握することはすごくいいことだと思いました。学研は、AEDの依頼から装着までの部分も、すぐ大声で応援を呼んだときにちゃんと依頼しましょうということまで書いてあって、実践になるなと思いました。そういう意味では、学研のこのフローチャート、それからその後写真に基づく実際の行動は何をしたらいいかが非常に分かりやすく書いてあって、これは評価していいことなのかなと思いました。

吉田教育長 他にはございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員に質問なのですけれども、中学校では実際に心肺甦生法等はされているのですか。

生方選定委員 学校によってなのですけれども、消防からAEDを借りて、時間を使って、非常に命の関連で大事なところなのでやっているという学校が多く見られます。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 私から申し上げます。学習指導要領では健康、安全について理解するとともに、予防や対処方法についての基本的な授業を身につけること、実践が保健体育では大切なわけです。

学研では、巻頭目次の1年、2年、3年に、章ごとに3つから8つの節を設けています。健康や安全などについての基本的な知識、これを学習した上で予防や対処法を載せていることが、目次から見て取ることができると思います。具体的に42ページから始まる第2章、心身の発達と心の健康では、44ページの1体の発育、発達から、60ページの8欲求不満やストレスへの対処法、こういった中で基本的な知識を学習した上で、63ページ資料6でストレス対処法の例が載っています。また、64ページの実習で、リラクゼーションの例、次のページにはエクササイズ例、声かけの例、さらに66ページでは探究のストレスチェックの例、67ページのコミュニケーションの例、これらを挙げて具体的な処方について学べるようにしています。

また、先ほど山口委員からもございましたけれども、106ページ、第4章の傷害の防止、これでは108ページの傷害の原因と防止から122ページまで、「応急手当の意義と基本」、ここで基本的な知識を学習した上で、124から131ページまで、人工呼吸、AEDを使用した心肺蘇生法、様々な傷の手当ての技能、技法及び傷害の種類に応じた対処法、これが学べるようになっていくかと思えます。こうしたところで実践力を養うというところは特徴的なのかなと思いました。ほかの教科書でも同じように扱ってはいるのですけれども、なかなかよくできているなと思いました。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 教科書展示のアンケート調査にも載っていたのですけれども、性の多様性について昨今社会的にも問題になっています。どこかの段階できちんと情報を生徒に伝える必要があると思うのです。文部科学省でも2010年から性同一性障害についての通達を都道府県に行っていますし、それに基づいて例えば制服、女子もスラックスをはいていい、あるいはトイレ、多目的トイレ等、相談窓口等の掲示は整っていると思うのですけれども、あくまでもそれはその個人に対してであって、全体に対しての指導ということは行われていないと思うのです。ほかの教科書、例えば家庭科や理科とか道徳とかも見てみたのですけれども、それを扱っているところはなくて、やはり保健体育で扱うのが適切かなと感じておりました、その観点で保健体育の教科書を見てみました。関連のところですが、東京書籍は51ページ、大日本図書は38ページ、学研は66ページ、大

修館は42ページにあります。扱い方に、すごく差があるのです。端的に申しますと、大修館書店、大修館がとても詳しく性についての固定的な考え方に気づこうということで大々的に扱っていき、これはとてもいいなと思いました。学研に関しましても性の多様性ということで、体の性、心の性、関心を持つ性という形で扱っています。大日本図書は38ページの左に、「これらを理由にして男性らしさ、女性らしさの押しつけや、男性なのに、女性なのにと行って誰かを非難するようなことがあってはいけません」と書いてあって、右には異性の関心が強くなるということだけなので、これだと少し不足するなと感じました。東京書籍は、性の多様性というところで、1ページを使って書いてあるのですけれども、やはりこの問題はきちんと扱ってほしいと思ひ、そういう意味では大修館の表記がよろしいかと思ひました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 それでは次に、観点2から4についてですけれども、これについてはまとめてお願いをいたします。

調査の観点2から4についてご意見はございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 私は新型コロナウイルスが大分蔓延したことも考えて、感染症のことを調べてみたのですけれども、例えば学研の153ページには緊急事態宣言の記事、あるいは資料として偏見や差別をなくすためにと、先ほど道徳との関連で話が出ましたけれども、当時も世の中が大分差別的な雰囲気があったかなと思ひますので、こういうところから載せてもらえるといいなと思ひました。2類から5類に移行したこともあって、各社とも大分インフルエンザの記述は多いのですけれども、忘れてはいけないなと思ひましたので、こういったことは今後も載せてもらえればありがたいなと思ひました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 この1から4以外の観点の他に協議したいことはございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより保健体育の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

[選定委員退室]

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、足立委員、渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	19点
4番	大日本図書	21点
50番	大修館書店	26点
224番	学研	29点

以上のとおり保健体育の教科用図書は、224番、学研を採択することに決しました。

さて、現在審議しています。第37号議案ですが、本日の審議はここまでとし、以降の種目につきましては、日を改めまして8月8日木曜日、午前9時30分から今回と同じ中央市民会館第15から18会議室で引き続き審議を行いたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本日の会議はこれにて閉会といたします。ありがとうございました。

(午後 5時06分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 平

委 員

東 宏 行

委 員

足 立 夢 典

書 記

教育総務課調整幹

鈴木 理香